

代々木ゼミナール造形学校

2026年度 入学案内

SAPIX YOZEMI GROUP



YOZEMI
ZOKEI
2026-
2027

目次	contents
02	代ゼミで学ぶということ
08	設置講座
10	いつから始める?
12	合格者の声
14	造形学校講師紹介
16	油画科 昼間部・夜間部・基礎コース
18	日本画科 昼間部・夜間部・基礎コース
20	彫刻科 昼間部・夜間部・基礎コース
22	油画科・日本画科・彫刻科 基礎コース作品
24	油画科 作品
26	日本画科 作品
28	彫刻科 作品
30	デザイン・工芸科 昼間部 芸大コース
32	デザイン・工芸科 昼間部 私大コース
34	デザイン・工芸科 夜間部・土日部・土日基礎部
36	デザイン・工芸科 作品
40	学科
44	建築科
46	建築科 作品
50	芸術学科
54	先端芸術表現科
58	基礎科 高校生コース
64	基礎科 中学生高校受験コース
66	基礎科 中学生ステップアップコース
68	推薦対策・個別指導アトリエ
70	造形ジュニアこども絵画教室
72	大学説明会
74	代々木アートギャラリー
74	芸大美大合格者選抜作品展・春の基礎科展
76	代ゼミを、見る。知る。体験する。
78	代ゼミを、もっともつと知る。体験する。
80	造形学校の歩み



原点は誠実さ。

美術関係の仕事は、生活のあらゆる場面に直接関わっています。建築、インテリア、さまざまな工業製品、印刷物、ファッション、映像、インターネット、そしてファインアート。このような分野で何より大切なのは、誠実さです。取り組む姿勢が誠実だったもの、いい加減な気持ちだったもの、というのはできあがった作品を見ればすぐにわかります。それは仕事でも入試でも同じです。入試の実技科目は単なる正誤判定ではなく、手作業を通じて、作者の取り組む姿勢が問われていると言えます。

自分が感じたことはどうすれば形になるのか。自分が作った物は人にどう見えるのか。自分の思いはどうしたら人に伝わるのか。これらの問いに対して納得いくまで考え、工夫を凝らす。とことん考えて創造する、この姿勢こそ、将来の仕事への土台になります。芸大美大受験はその最初の一步です。私たちは、挑戦する生徒一人ひとりに懇切丁寧に向き合うとともに、みなさんの美術人生のスタートを全力で応援します。

代々木ゼミナール造形学校 校長

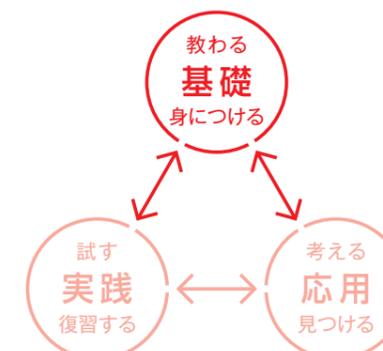


しっかり教わる

知識やテクニックを
わかりやすく学んでいく



建物を支えている土台は見えません。知識やテクニックも、習得してしまえば基礎は意識されにくいものです。基礎とは、能力を伸ばすためのベースです。造形学校では、美術の基本となる画材の使い方、ものの見方、構図や表現の成り立ちを理解して、身につけられるよう指導します。自然や身近なものからも、その美しさや工夫を学び視野を広げます。自分で考え成長できる力をつけて美大へ合格させること。また、将来どんな分野でも自立して活躍できる人を育てること。そのために、私たちは基礎の指導をとても大切にしています。



自分を磨くトライアングル法

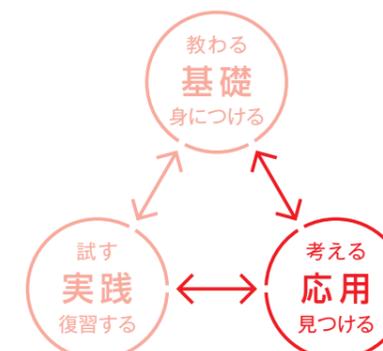


深く考える

講師と話し合い
自分らしさを見つける



美術の学習では、色・形・材料とは何かを見つめ、感じ取ったことや心に描いたことをかたちにしていきます。作品鑑賞や制作をとおして、美術の歴史やさまざまな理論と表現などを学びます。習ったことは自分の中で整理して試してみましょう。そして、自ら深く考えることが重要です。これで良いのか、自分に合っているか、美大で何を学びたいかなど、いろんな悩みや疑問を抱くかもしれません。講師は、生徒一人ひとりと話し合って丁寧に指導を行います。作品に対する考えをしっかりと伝え、抱えている課題と向き合ってください。きっと本当の自分らしさが見えてきます。

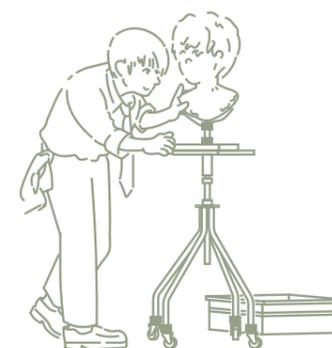


自分を磨くトライアングル法

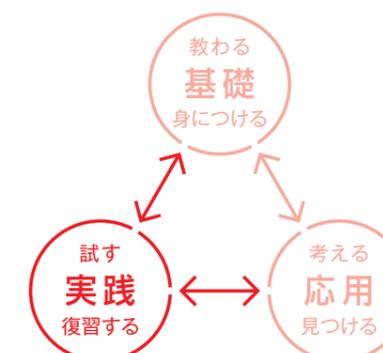


おもいっきり描く・創る

自分らしい表現で
合格する



感性や想像力を働かせてのびのびと、自分を信じて、おもいきり描いてください。よく見て考え、何度も試してはやり直す。知識や実技の経験を積み重ねるうちに、自分を表現する力がついていくはず。 「何を伝えたいのか?」「どう表現したいのか?」こうした問いを繰り返し、常に自分の作品を客観的に見る冷静さは忘れないようにしましょう。主体的に学び・考えて身につけた力は、困難な課題にも立ち向かえる大きな力になります。自分らしさを活かして目標を達成するため、講師とスタッフ全員で入試直前まで全力でサポートします。



自分を磨くトライアングル法

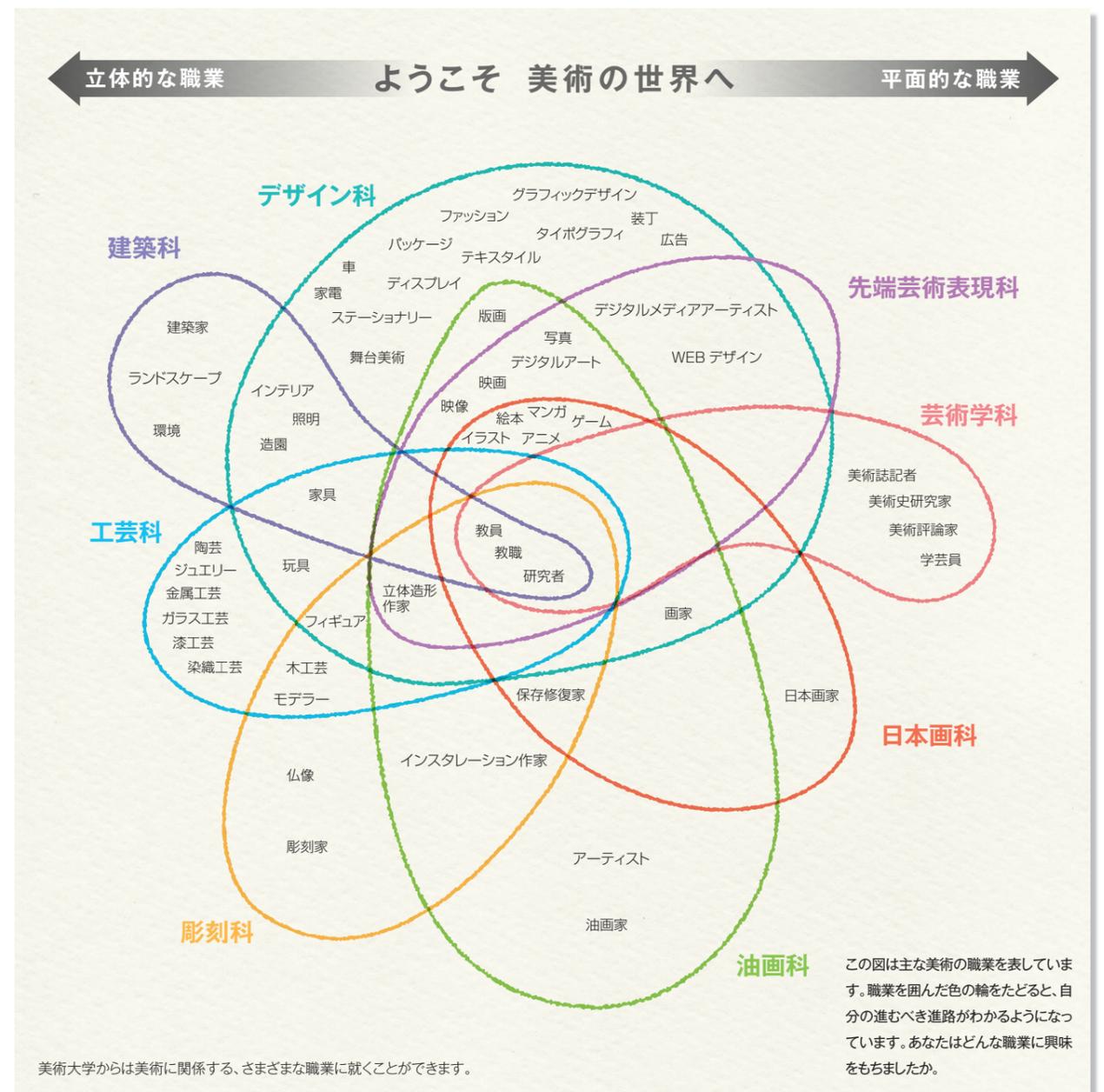
月曜～土曜				
油画科 P.16	昼間部 月曜～土曜 / 9:30～16:30	夜間部 月曜～金曜 / 17:10～20:10 水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 14:00～20:00	基礎コース 下記の日程より選択(6時間/週) 土曜 / 14:00～20:00 水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 17:00～20:00	3時間オプションプラン 「基礎コース」の受講に加え、下記の日程より選択(3時間/週) ●水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 17:00～20:00
	日本画科 P.18	昼間部 月曜～土曜 / 9:30～16:30	夜間部 月曜～金曜 / 17:10～20:10 水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 14:00～20:00	基礎コース 下記の日程より選択(6時間/週) 土曜 / 14:00～20:00 水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 17:00～20:00
彫刻科 P.20	昼間部 月曜～土曜 / 9:30～16:30	夜間部 月曜～金曜 / 17:10～20:10 水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 14:00～20:00	基礎コース 下記の日程より選択(6時間/週) 土曜 / 14:00～20:00 水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 17:00～20:00	3時間オプションプラン 「基礎コース」の受講に加え、下記の日程より選択(3時間/週) ●水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 17:00～20:00

月曜～日曜				
デザイン・工芸科 P.30	昼間部 芸大コース 月曜～土曜 / 9:30～16:30	夜間部 芸大私大コース 月曜～金曜 / 17:10～20:10 水曜～金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 14:00～20:00	私大土日コース 土曜 / 14:00～20:00 日曜 / 9:30～16:30	高校生 土曜コース 土曜 / 14:00～20:00
	昼間部 私大コース 月曜～金曜 / 9:30～16:30			

土曜・日曜				
建築科 P.44	芸大コース 土曜 / 14:00～20:00 日曜 / 9:30～16:30	美大コース 選 土曜 / 14:00～20:00 択 日曜 / 9:30～16:30	工学コース 選 土曜 / 14:00～20:00 択 日曜 / 9:30～16:30	
	芸術学科 P.50	東京芸大Aコース 日曜 / 9:30～16:30	東京芸大Bコース 日曜 / 9:30～12:30	鑑賞論文コース 日曜 / 13:30～16:30
先端芸術表現科 P.54	先端芸術表現科 映像・アニメーション 土曜 / 14:00～20:00 日曜 / 9:30～16:30	高校生 日曜コース 日曜 / 9:30～16:30		

月曜・火曜			
学科 P.40	美大英語 月曜 / 17:10～19:10	美大国語 火曜 / 17:10～19:10	

月曜～土曜				
基礎科 高校生 P.58	高校生 月火コース 月曜・火曜 / 17:10～20:10	高校生 水木コース 水曜・木曜 / 17:10～20:10	高校生 金土コース 金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 17:00～20:00	高校生 土曜コース 土曜 / 14:00～20:00
	基礎科 中学生 P.64	中学生 高校受験コース 下記の日程から3時間選択(学期内振替可) 月・火・木・金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 14:00～17:00 17:00～20:00	中学生 ステップアップコース 下記の日程から3時間選択(学期内振替可) 月・火・木・金曜 / 17:10～20:10 土曜 / 17:00～20:00	



いつから始める？

マンガ、イラスト、アニメ、絵画、彫刻、デザイン、建築、美術史、...、大好きで興味があるからその方面に進学したいけど、いつから何を始めて受験勉強すればいいの？

美大へ進学を考えている高校生、美術系高校へ進学を考えている中学生のみならず、受験勉強を始める時期は悩むところかもしれません。造形学校では年間を通して受験勉強を始めるきっかけとして授業体験や相談会を実施しています。この授業体験や相談会を通して造形学校のわかりやすく丁寧な授業をご理解いただき、講習会や学期授業を受講いただくことをおすすめします。

いつから始めたらいいの？

美大に合格するためには、少なくとも1年間の実技勉強期間が必要になります。そのため美大進学を考えたら、まずは授業体験で合格に必要な実技レベルを実感してください。ただし、東京藝術大学を志望する場合、2年以上の受験専攻に合わせた実技勉強が必要となります。できるだけ早くから実技の勉強を始めることをおすすめします。



美大の学科レベルはどのくらい？

美大入試の学科レベルは大学や専攻によって異なります。全体的な水準としては模試で平均点以上取れていることが望ましいです。美大とは言えど学科試験も合否を大きく左右する科目です。実技だけでなく高い意識を持って学科の勉強にも取り組みましょう。

授業体験

- **プレ講習**
油画、日本画、彫刻、デザイン・工芸、建築、芸術学、先端芸術表現
- **基礎科中学生コース体験授業**
- **初心者のための体験デッサン**
- **初心者のための体験色彩構成**
- **初心者のための体験油彩**
- **初心者のための体験着彩**
- **初心者のための体験塑造**
- **学期中の授業体験**
詳細な案内は造形学校ホームページをご覧ください。

相談会

- **美大受験生と保護者のための受験相談会**

授業体験や相談会から講習会や学期授業へ

講習会

学期授業



▶ 2026年

春期講習会

3月25日(水)~4月4日(土)

プレ講習
油画、日本画、彫刻、デザイン・工芸、建築、芸術学、先端芸術表現

3月21日(土)/3月22日(日)
9:30~16:30

基礎科中学生コース 体験授業

3月22日(日) 9:30~12:30

初心者のための
体験デッサン

3月15日(日)/3月20日(祝金)
12:30~16:30

美大受験生と保護者のための
受験相談会

3月15日(日)/3月20日(祝金)
10:00~11:30

初心者のための
体験色彩構成

3月20日(祝金)
12:30~16:30

4月6日(月)~7月5日(日)

第1学期



体験デッサンの様子



受験相談会の様子

初心者のための
体験デッサン

4月5日(日)
12:30~16:30

美大受験生と保護者のための
受験相談会

4月5日(日)
10:00~11:30

初心者のための
体験色彩構成

4月5日(日)
12:30~16:30

夏期講習会

7月13日(月)~8月22日(土)



講習会の様子

初心者のための
体験デッサン

7月5日(日)/7月19日(日)
12:30~16:30

美大受験生と保護者のための
受験相談会

7月5日(日)/7月19日(日)
10:00~11:30

初心者のための
体験色彩構成

7月12日(日)
12:30~16:30

初心者のための
体験油彩

7月12日(日)
9:30~16:30

初心者のための
体験着彩

7月12日(日)
9:30~16:30

初心者のための
体験塑造

7月12日(日)
9:30~16:30

8月31日(月)~12月6日(日)

第2学期



体験着彩の様子



体験油彩の様子

初心者のための
体験デッサン

12月6日(日)
12:30~16:30

美大受験生と保護者のための
受験相談会

12月6日(日)
10:00~11:30

初心者のための
体験色彩構成

12月13日(日)
12:30~16:30



体験油彩の様子

初心者のための
体験油彩

12月13日(日)
9:30~16:30

初心者のための
体験着彩

12月13日(日)
9:30~16:30

初心者のための
体験塑造

12月13日(日)
9:30~16:30



体験塑造の様子

初心者のための
体験油彩

12月13日(日)
9:30~16:30

初心者のための
体験着彩

12月13日(日)
9:30~16:30

初心者のための
体験塑造

12月13日(日)
9:30~16:30



体験色彩構成の様子

初心者のための
体験油彩

12月13日(日)
9:30~16:30

初心者のための
体験着彩

12月13日(日)
9:30~16:30

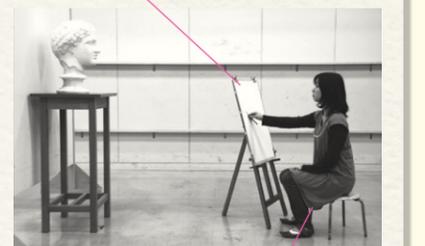
初心者のための
体験塑造

12月13日(日)
9:30~16:30

体験デッサンではデッサンの基本中の基本の姿勢から指導します。

● イーゼルの位置

モチーフに対して、右利きの人は右側、左利きの人は左側にイーゼルを置き、身体がモチーフの方を向くようにすると、正確な計りができます。描き始めたら、イーゼルや椅子はできるだけ動かさない方が良いでしょう。ずっと座ったままではなく、たまには離れてデッサンの全体を観たり、モチーフに触れたりして確認を取りましょう。



● デッサンの時の姿勢

正確にデッサンするためには、良い姿勢で描くことはとても大切なことです。画面に届くくらいに腕を伸ばし、背筋を真っ直ぐにして描きます。足を組んだり背筋を丸めて描かないように注意します。デッサンを経験した人も、もう一度確認してみましょう。

※各イベントの実施日時は変更になる場合があります。



一般選抜 合格

藤本 日子 さん [小石川中等教育学校出身]
合格校 東京藝術大学 建築科
 武蔵野美術大学 建築学科
 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科

入試が終わった率直な感想は？

自分の力を出し切れたと思います。1年前の試験を終えたあとは、「ああしておけば良かった。」と思うことが何度もありましたが、今年の試験を終えてからは、「これで落ちるなら、私には向いていない入試なんだろう。」と強く思うことができました。

代ゼミで学んで一番印象に残っていることは？

直前期に先生が「建築科の試験では、空間をつくりだす手法を見つけていくことが大事」と仰っていたのが印象に残っています。自分はそれまで提出作品の見ただけばかりを気にしていましたが、本番の試験では思考のプロセスや個性を採点者に伝えることを意識して臨みました。

受験生活を送る中で、スランプはどう乗り越えましたか？

浪人してからの夏の時期など、受験に対して悲観的になってしまうことはありました。そのようなときには、図書館で本を読んだり、少し遠くへ足を運んでみたり、受験とは距離を置いてのんびり過ごしていました。

現在、志望校合格のために頑張っている後輩へ一言。

入試対策だけにのめり込まずに、幅広い分野への造詣を深めておく、自分の個性が一際輝くものになると思います。いつもは納得しているものに対して批判的に考えてみたり、自分が「好き／嫌い」なことに対して、何故「好き／嫌い」なのか考えてみたりすると、より「自分らしさ」の本質が見えてきて、自分にしか生みだせない作品が作れるようになります。



一般選抜 合格

柳川 純子 さん [精華学園高校出身]
合格校 東京藝術大学 美術学部 彫刻科 ※2023年度夜間部在籍

代ゼミで学んで一番印象に残っていることは？

大学での話になるのですが、現役時代に理解できなかったことが長い制作期間の中で少しずつわかるようになっていったことです。繰り返し何度も言われたことや記憶に残っている指導などが自分の見え方と重なってくるのはなんともいえない気持ちよさがあります。

受験生活を送る中で、スランプはどう乗り越えましたか？

行き詰まった時は、いったん手を入れることから離れて、改めて自分が何をしたかったのか考え直す時間をとるようにしていました。ただ、当然締切はあるので最後までよくわからず終わってしまうこともあります。とにかく考え続けるしかないだろうと思っています。

受験期間、自分を支えてくれた方とそのエピソード。

ありすぎて絞れないですが、現役生のときの春期講習で大失敗した時のことは一生忘れないと思います。また、時には息抜きも必要だと教えていただいたことは今でも思い出し、支えになっています。そして、もう一度受験の機会を与えてくれた両親には感謝しています。

現在、志望校合格のために頑張っている後輩へ一言。

浪人にこだわりすぎず、まずは受かった大学に行って学ぶのも一つの手だと思います。同じ素材、モチーフを短いスパンで作り続ける受験対策よりも制作を自分のものにしやすいうえ、それとじっくり向き合う時間もできます。どんな環境でもやり続けたことは確実に積み重なっていると思うので、思うような結果が出なかったとしても丸ごと次に活かす勇気を持って大丈夫だと思います。



総合型選抜 現役合格

原 瞳実 さん [日本工業大学駒場高校出身]
合格校 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科

代ゼミで学んで一番印象に残っていることは？

高2生の後半に取り組んだ平面構成の作品です。本格的に絵の具に慣れてきた頃に制作したのでとても達成感がありました。他にも、高1生の基礎科に通っていた頃に描いた油絵も印象に残っています。高1生からデザイン志望でしたが、油絵を体験することで、視野が広がったと感じました。

受験生活を送る中で、スランプはどう乗り越えましたか？

数えきれないほどありました(笑)。私の高校は普通科のため美術の授業もなく、毎日勉強漬けの日々だったので、とにかく学校と受験を両立させることがつらかったです。なので余計に「こんな作品で大丈夫なのかな」と悩む時間が多かったです。そのような時は寝て、おいしいものを食べたり、コンサートに行ったりして、一回受験を忘れてリフレッシュしていました。そうすることで逆に気持ちを切りかえてまた集中できたり、新しいアイデアが浮かんできたりしました。一点に集中しすぎるのも良くないんだと学びました。

受験期間、自分を支えてくれた方とそのエピソード。

まずは、私がデザイン・工芸科に入ってからずっと親身になって指導してくださった熊谷先生です。道具の使い方から、デッサン、デジタルまで、様々なことを教えてくださりました。良い作品はすぐほめてくださり、逆に足りない所はいてないにアドバイスしてくださるのでたくさんのスキルが先生のおかげで身についたと思います。そして、一緒に受験を乗り越えた代ゼミの友達です。大変なときも昼休みに食事をしながら悩みを聞いてくれたりして、気持ちが楽になりました。最後に両親です。私の夢を応援して、最後まで支えてくれて、本当に感謝しています。



学校推薦型選抜 合格

狩野 文 さん [新潟明訓高校出身]
合格校 多摩美術大学 プロダクトデザイン専攻

代ゼミで学んで一番印象に残っていることは？

平面構成とデッサンでできていないことが同じだと言われたことです。どちらもどういう絵にしたいか決めてから整理して完成に向かう必要があると言われ、「確かに!」と思いました。先生が自分のことを自分以上に理解してくださっていることを実感しました。

受験生活を送る中で、スランプはどう乗り越えましたか？

アイデアが全く浮かばず、楽しく作品を作れないときがありました。そんな時は、先生からアドバイスをもらったり薦めてもらった本を読んだりしていました。

受験期間、自分を支えてくれた方とそのエピソード。

デッサンも平面構成も未経験だったので石川先生と岡田先生に大変お世話になりました。作品に関して悩んだときに、いつも私に合った方向性を示してくださいました。本当に先生方のおかげで合格することができたと思っています。他にも、オープンキャンパスで知り合った大学の先輩にアドバイスをもらったり、面接の練習に付きあってもらったりとたくさん助けていただきました。

現在、志望校合格のために頑張っている後輩へ一言。

志望する大学のイベントには積極的に参加した方が良いと思います。自分から行動することで得られる学びやチャンスが必ずあります。頑張ってください。



一般選抜 合格

高橋 吟奈 さん [朝霞高校出身]
合格校 多摩美術大学 絵画学科 油画専攻
 武蔵野美術大学 油絵学科 油絵専攻
 女子美術大学 美術学科 洋画専攻

代ゼミで学んで一番印象に残っていることは？

8月まで取り組んでいた総合型選抜入試対策です。結局は総合型選抜入試から一般入試に切り替えてしまいましたが、自分の作品に自信がなくなっていた私にとって、自分の作品のコンセプトやストーリーなどを見つめ直す時間はとても大切な時間だったと思うし、後々の作品にも大きな影響を与えてくれました。

受験生活を送る中で、スランプはどう乗り越えましたか？

私の体感ではあまりスランプはなくて(現役生の時はあった気がします)、自分の好きな作家さんの色を真似してみたり、好きな音楽から発想を得たり、分厚い絵の具で描いたり、逆に薄くしたり、マチエールをつけたり、オイルを変えたり、毎回何かを実験してって少しずつ成長していきました。高2生から色々な絵を描いてきたけれど、ストーリーを持って制作することは続けていて、何か一つでも一貫するものがあると良いのかなと思います。あまり上手いかなかった日の気持ちは引かずらいようにしつつ、改善点はしっかり次の絵に持ち越していきました。

現在、志望校合格のために頑張っている後輩へ一言。

たくさん失敗をすることが一番の近道のように思います。色々な作品を見て、聴いて、読んで、たくさんものから影響を受けていくと自分の作りたいものが見つかっていくと思います。あとはやはり周りのことは気にせず、休み休みでも自分のペースで対策していくことが大切です。ぜひうまくいかない時を伏線にして、合格を勝ち取ってください!!



一般選抜 合格

秋満 陽和子 さん [女子美術大学付属高校出身]
合格校 武蔵野美術大学 油絵学科 油絵専攻

代ゼミで学んで一番印象に残っていることは？

見えている物全てを描くように、先生から指摘を頂いたことです。床や台に映る光と影、そして、表面の汚れさえも描くという先生の言葉に衝撃を受けたことを覚えています。それまで持っていた細部は最後に手を入れる物だという考え方を壊し、より自由に描く力を与えてくれたのがこの言葉でした。試験でも、この言葉のおかげでモチーフに戸惑うことなく、いつも通り描くことができたと思います。

受験生活を送る中で、スランプはどう乗り越えましたか？

気分が乗らない、体調が万全でない、などの理由で成長が停滞することは何度ありました。納得のいかない作品が続いてしまうとやはり落ち込みました。大切なのはそんな作品とも向き合うことだと思います。記録を残して見つめ直すことで改善点を導き出し、次の作品ではその一点だけを意識して制作するというのも良い気分転換になります。

受験期間、自分を支えてくれた方とそのエピソード。

別の大学に進学したのにも関わらず、突然美大受験をしたいと言いついた私を応援してくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。学科試験の勉強でもアドバイスをくれたので心強かったです。また、油画科の先生方には本当にお世話になりました。揃えておくという道具などの基本的なことから、制作の進め方などの専門的なことまで親身に指導してくださいました。短い間でしたがありがとうございました!



一般選抜 現役合格

塚田 遥夏 さん [森村学園高等部出身]
合格校 多摩美術大学 総合デザイン学科
 武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科
 東京造形大学 インダストリアルデザイン専攻領域
 東京造形大学 テキスタイルデザイン専攻領域

受験生活を送る中で、スランプはどう乗り越えましたか？

細かな描写にこだわってしまい、構図や構成を中途半端にしてしまっていた時期がありました。先生にアドバイスをいただき、一旦時間内の完成にこだわらず、アイデア出しやエスキースに時間をかけることで、自分なりのスタイルを見つめ直しました。

受験期間、自分を支えてくれた方とそのエピソード。

先生方の指導、両親の送迎などたくさんの方に支えてもらいましたが、その中でも一番支えになったのは代ゼミの友達です。その友達とは高3生の夏期講習会の時にたまたま家が近いということで仲良くなり、休み時間や帰りの電車などに予備校のこと、受験のことをお互いに話したりしました。私は普通科の高校に通っていたため、周囲に美大受験のことについて話せる友達はおらず、孤独に感じていましたが、その友達と出会うから毎日代ゼミに来るのが楽しみになりました。友達の存在は私にとって大きな支えでした。

現在、志望校合格のために頑張っている後輩へ一言。

私は秋の総合型選抜入試に落ちてしまったのですが、最終的にはその落ちた学科に一般入試で合格することができました。なので、諦めないことはとても大事だと思います。もう一つは、学科(特に英語)をおろそかにしないことです。私は手のデッサンが本当に苦手で、一番下手なんじゃないかというレベルでしたが、多分学科が平均よりはできたので、どうにか合格できたのだと思います。実技は採点する人の好みによって大きく点数が変わることもありますが、学科は自分の努力が必ず点数に出るので、確実に入試で得点しておくべきだと思います!



一般選抜 合格

坂上 志織 さん [大船高校出身]
合格校 多摩美術大学 メディア芸術コース

代ゼミで学んで一番印象に残っていることは？

「絵にも理由があるんだ」と驚いた記憶があります。小さな頃から独学で「何となく」で絵を描いていたので、感覚とセンスだけの世界ではないんだな、と、自分はもう伸び代なんて無いのでは、と思っていたのでかなりやる気につながったと思います。

受験生活を送る中で、スランプはどう乗り越えましたか？

「そういう時期」と割り切って描き続けました。気分転換に別の専攻の課題に取り組んでも結局逆に悪化することもあったので、ひたすら玉砕覚悟で第一志望学科の課題に取り組んでいました。展示などを見に行ったりや改善したこともあります。先生に相談してみるのもいいと思います。

受験期間、自分を支えてくれた方とそのエピソード。

講師の先生方や家族にたくさん支えていただいたのは勿論ですが、友人に助けられた場面が多いです。自分の作品や自分自身に自信がなくなって荒れていた時期に励ますでもなく責めるでもなく話を聞いてくれたり、いつでも「いつも通り」の安心感をくれた友人の存在ははかなり大きな心の支えになっていたと思います。

現在、志望校合格のために頑張っている後輩へ一言。

ある時から周囲の人の作品が途端もなく輝いて見えたりするかもしれませんが、自分を見失わず、焦らずにいて欲しいです。身体の調子は勿論大切ですが、精神もしっかりケアしてください。作品のクオリティにも影響が出るし、良いものも良く見えなくなるかと負のループになります。学科との両立は大変ですが、実技は楽しんだもん勝ちだと思います。頑張ってください。

造形学校講師紹介

造形学校の授業は少人数制で一人ひとりにきめ細やかな指導ができる体制をとっています。授業は大学生のアルバイト講師ではなく専任の講師が主に担当しています。実技や学科のわかりやすい指導はもちろん、制作過程で生まれる悩みや疑問にも経験豊富な講師だからこそ答えることができます。講師もみなさんと同じ受験の苦労を経験してきました。同じ志を持った先輩として、時に優しく、時には師として厳しくアドバイスしていきます。

油画科



佐藤 亮介
東京藝術大学絵画科油画専攻卒

「めちゃくちゃ」を表現するにも参考とするものがなければ表せません。絵で表すなら写實的に描くことと同じくらい研究が必要でしょう。油画科の面白さはどんな方向や大きさの思いでも研究対象として扱い、人に伝えていく「絵画表現による言葉」を身につけていくところにあります。口での会話も絵での会話も一緒に楽しみましょう。

吉浜 岳史 (東京藝術大学絵画科油画専攻卒 同大学院修了)
明神 睦美 (武蔵野美術大学油絵学科卒 東京藝術大学大学院油画専攻修了)

建築科



横田 充
東京藝術大学建築科卒 同大学院修了

「建築をする」と決めた自分の気持ちを何よりも優先し、建築への情熱と夢を持ち続けることこそが合格の秘訣です。伸び悩みや迷いも必ずやってきます。そんな時でも自分を失うことなく強い意志で目標に向かってください。合格者に共通するのがこの「建築への情熱の強さ」です。

島田 斉 (東京藝術大学建築科卒)
伊藤 優 (東京藝術大学建築科卒 同大学院在学)
豊福 悠 (東京藝術大学建築科在学)
岩月 あおい (東京藝術大学建築科在学)

芸術学科



佐々木 泰樹
東京藝術大学芸術学科卒

東京藝大で芸術学を学ぶ。卒業後は学芸員や研究者になる。何て素晴らしい人生だ、と思いませんか。もちろん、そのためには人一倍の努力が必要です。でも最も大切なのは、芸術作品および芸術家に対するリスペクト! それなしには何も始まりません。今年も夢と志を持った生徒とお会いできることを心待ちにしています。

日本画科



野島 ひな子
東京藝術大学絵画科日本画専攻卒

日本画科の受験では、ものをよく観察して描く力が求められています。それは将来、何かを創造するための礎になります。受験への道のりには苦しい時もあると思いますが、絵を描きたいという気持ちをいつも大切に、課題に取り組んでいきましょう。大学合格を目指し、講師一同でサポートしていきます。

村山 美代子 (東京藝術大学絵画科日本画専攻卒)
藤野 七帆 (東京藝術大学絵画科日本画専攻卒 同大学院修了)
羽生 小桃 (東京藝術大学絵画科日本画専攻卒)
中原 玲奈 (東京藝術大学絵画科日本画専攻卒 同大学院在学)
境 奏匠 (東京藝術大学絵画科日本画専攻在学)

彫刻科



北山 翔一
東京藝術大学彫刻科卒 同大学院修了

絵を「描く」というより「触る」のが好きな人。ブロック遊びや粘土遊びが好きな人。身体を使うのが好きな人。どこかに当てはまるあなたは、もしかすると「彫刻」に向いているかもしれません。なかなか普段馴染みのない彫刻という芸術には、やった人だけにみせる面白い顔があるんです。芸大・美大受験をきっかけに、「彫刻」を通じて世界を改めて眺めてみませんか?

長谷川 慶 (東京藝術大学彫刻科卒 同大学院修了)
西田 美弥子 (東京藝術大学彫刻科卒 同大学院在学)
黒野 花 (東京藝術大学彫刻科在学)

先端芸術表現科 映像・アニメーション



関根 隆裕
東京藝術大学絵画科油画専攻卒 同大学院修了

現代アートが好き、映画が好き、アニメ、マンガが好き…。何か並々ならぬ熱を持っている人は受験においても強いです。しかし作る側の人間になるには自分の熱を冷静に分析し、思考する必要があります。幅広い表現に触れながら、自らの表現方法を模索し、大学合格を目指しましょう。

松本 あおい (武蔵野美術大学映像学科卒 東京藝術大学大学院映画専攻修了)
川村 理生 (東京藝術大学先端芸術表現科卒)
田上 碧 (東京藝術大学先端芸術表現科卒 同大学院修了)

基礎科 高校生 中学生



村山美代子
東京藝術大学絵画科日本画専攻卒

絵を描くのが好き、何かを作るのが好き。スタートはなんとなくの興味からでも大丈夫です。基礎科は美大受験の入り口であり、美術という広い世界の入り口の1つでもあります。デッサンの基礎を学びながら、ものを生み出す楽しさや、自分が表現したいのはどんなことなのかをみつけていきましょう。

佐藤 亮介 (東京藝術大学絵画科油画専攻卒)
岡田 和枝 (東京藝術大学絵画科油画専攻卒 同大学院修了)
山本 渉 (東京藝術大学彫刻科卒)
村上 佳穂 (東京藝術大学彫刻科卒 同大学院在学)
鈴木 葉子 (東京藝術大学絵画科油画専攻卒 同大学院在学)
横野 多聞 (東京藝術大学絵画科日本画専攻在学)

デザイン・工芸科



石川 聡
多摩美術大学染織デザイン学科卒

デザインや工芸を将来の仕事として目指そうと思ったら、身の回りにあるモノやコトに興味を持ってください。色々なことに気づくはず。そのひとつひとつの気づきは、美大受験の実技の中で必ず活かされます。たくさん気づいて、日々の制作に集中し自分を磨き上げてください。それを続ければ将来の夢にどんどん近づいていけるでしょう。夢の実現への第一歩のために応援します。

安孫子 正浩 (東京造形大学デザイン類卒)
岡田 浩志 (東京藝術大学絵画科油画専攻卒 同大学院修了)
熊谷 哲也 (武蔵野美術大学短期大学部グラフィックデザイン専攻科卒)
津村 知枝 (多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒)
西村 信悟 (多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒)

学科 国語・英語

芸大・美大受験生にとっての最重要課題は、実技の実習と国語・英語の学習です。言葉を習得せずして、造形表現の根幹を養うことはできません。多摩美・武蔵美の国語・英語をマスターすることで、美術人にとっての言葉の常識を身につけましょう!

佐々木 泰樹 (東京藝術大学芸術学科卒)

造形ジュニア こども絵画教室

木島 桂子 (武蔵野美術大学日本画学科卒)
青木 絵里子 (多摩美術大学絵画科油画専攻卒 同大学院修了)
津村 知枝 (多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒)
鈴木 彩 (東京藝術大学彫刻科卒 同大学院修了)
和田 治男 (武蔵野美術大学空間演出デザイン学科卒)
岸 かれん (多摩美術大学絵画科油画専攻卒 同大学院修了)
濱本 夏未 (多摩美術大学絵画科油画専攻卒)
古田島 一誓 (東京工科大学デザイン学科卒 同大学院修了)
新井 あかね (武蔵野美術大学日本画学科卒 同大学院修了)
林 菜穂 (東京藝術大学絵画科油画専攻卒 同大学院修了)



油画科

昼間部

高卒生または同等の資格を認定された方対象
月曜～土曜 / 9:30～16:30

夜間部

高2・高3生対象
●月曜～金曜 / 17:10～20:10
●水曜～金曜 / 17:10～20:10
土曜 / 14:00～20:00

基礎コース

高1・高2生対象
以下の日程より選択(6時間/週)
●土曜 / 14:00～20:00
●水曜～金曜 / 17:10～20:10・土曜 / 17:00～20:00
3時間オプションプラン
「基礎コース」の受講に加え、下記の日程より選択(3時間/週)
●水曜～金曜 / 17:10～20:10・土曜 / 17:00～20:00

絵のスタートは油画科から

油絵を描いたことのない人がなぜ油画科を選ぶのでしょうか。それは油絵具を通して自分の興味を深め、イメージ通りに絵を描く力を身につけるための場所だからです。同じ構図でも光の設定が違えば、影のつき方も見え隠れする物も変わって全く違う作品になってしまいます。そのため油画科ではデッサンと色彩、背景を分けて学ぶことはなく、状況や状態を丸ごとイメージして、その関係性を描くことを基本としています。多様な表現ができる油絵具を用い、そのようなイメージを持続けることで、見たことをよりドラマチックに描いたり、見たことのない風景を描けるようになるわけです。イメージ通りに絵が描けたら楽しいと思いませんか？少しでもそう思えたなら、油画科で学ぶことをおすすめします。



●今ここから理想へ一歩ずつ / 昼間部

昼間部は自分自身が物事をどう見ているか、理想の作品とは何かを改めてじっくり考えながら制作に臨める場所です。モチーフへの認識、イメージを形にしていく工程、画材の使い方などを再考することで、短時間制作時よりも明らかに多くの発見があります。それらの試行は大学に入っても繰り返し続けていくことであり、制作スタイルの確立にも結びついていきます。入試を一区切りとせず、この昼間部での制作から理想に向かって真摯に歩みを進め、1枚1枚その道程の上で考え、納得して手を動かして続けられたなら、自然と合格は1つの通過点となっているはず。

●確かな土台から理想の表現へ / 夜間部

夜間部はイメージ通りに絵が描けるようになることを最終目標として、自ら設定した光源で対象を正確に描く力の習得、油絵具や木炭という画材の特徴を掴むことから始め、各々に合った制作環境作り、狙いに基づく構図取り、参考資料の探し方など、制作における基本的なことを学んでいきます。また、生徒と話す時間を多く設けることで考えや興味についての言語化や、疑問を無くしていくことを徹底しています。理想を共有することで参考物や画材、技術面のアドバイスもより個々に適したものとなっていくため、イメージが形になる実感を具体的にもちながら制作に臨めるようになります。

●絵画の基礎づくりと自分の興味を知る / 基礎コース

基礎コースは油絵具や木炭という豊かな表現が可能な画材を用いることにより、基本的なデッサン力を身につけることや画材の特性を知ることはもちろん、光、空間、色彩、形態、触感の造形、配置といった要素のほか、絵画史や技法材料など、自分が理想の絵を描くために踏み込んでいきたい領域や分野に少しずつ気づいていき、楽しみながら絵画への理解を深めてもらうことを目的としています。自由気ままに描くでもなく、入試対策として描くでもない、この期間にこそできるたくさんの発見や気づきから、自分のやってみたいことを具体的に形にしていきましょう。

絵画技法や出題について講師が寄り添い、一緒に理解を深めていきます。



生徒と講師の距離が近く、わからないことがあれば様々な方向からアプローチしてわかるまで何度も丁寧に指導します。

課題スタート時には図解や、オリジナル資料を用いてレクチャーを行い、モチーフや課題への理解を深めていきます。制作が始まれば一人ひとりのデッサン力の差や目指したい絵の方向性に応じて、基本の確認、対話に基づいた参考作品の紹介、1つの光源から生まれる陰影の確認、油絵具の粘度や筆の毛の軟らかさ、オイルの調合に至るまで、講師も一緒に試し、一緒に体感することで、実感を持って技術や知識を身につける指導を心がけています。

総合型選抜・学校推薦型選抜入試にも対応。



総合型選抜入試で提出する作品のアイディア出しから制作、完成に至るまでサポートします。

面接・プレゼンテーション試験対策やポートフォリオの作成の指導も丁寧に行います。

日本画科

目で見て、手で現す。

日本画科では「写生」、つまり見たものをそのまま描くことを通じて、絵画を学んでいきます。モチーフをよく見ることが第一歩ですが、そこからどれだけの情報を見つけられるか、そしてそれを絵に描き表せるかが、大切な要素です。観察する力、描く力、表現する力を磨くため、生徒一人ひとりに合った指導で、志望校合格を全力でサポートします。

昼間部

高卒生または同等の資格を認定された方対象
月曜～土曜 / 9:30～16:30

夜間部

高2・高3生対象
●月曜～金曜 / 17:10～20:10
●水曜～金曜 / 17:10～20:10
土曜 / 14:00～20:00

基礎コース

高1・高2生対象
以下の日程より選択(6時間/週)
●土曜 / 14:00～20:00
●水曜～金曜 / 17:10～20:10・土曜 / 17:00～20:00
3時間オプションプラン
「基礎コース」の受講に加え、下記の日程より選択(3時間/週)
●水曜～金曜 / 17:10～20:10・土曜 / 17:00～20:00



● **自分が表現したいものを描く / 昼間部**
デッサン・着彩の基礎を確かなものにする、素材への理解を深めること、絵画の構成を知ることを主軸に様々な講義やゼミ、実践課題を通じて自分の描きたいものを追求し、それに合った画面を作ることを目標に授業を進めていきます。生徒それぞれにあった受験対策をしていくだけでなく、将来の活動の基盤となる感性を磨いていけるよう、サポートしていきます。

● **よく見て、描く / 夜間部**
絵画で描かれているのは日常よく目にするものばかりです。頭でイメージする形ではなく、目の前にあるものを描くとはどういうことなのかを、デッサン・着彩の基礎を知るところからはじめ、自分の見たもの、描きたいものを表現する力を身につけていきます。受験に向けて、一人ひとりの志望校に合った実践的な課題にも取り組んでいくことで現役合格を目指します。

● **美術に触れる / 基礎コース**
基礎コースでは美術に触れることをテーマに、デッサン・着彩の基本を、鉛筆の削り方から学んでいきます。様々な課題や素材に触れることで、ものを作ることの楽しさを実感し、自身の表現したいことを見つけていきます。将来の活動の基盤となる、制作へ取り組む姿勢を時間をかけて築くことができます。

課外授業や自宅課題で絵を描くことを習慣に

● 自分で1から描きたいモチーフを考えたり、取材をもとに絵を描いていくプロセスを経験することで、大学合格の先にある、絵画制作に活かせる様々な感性を育てるカリキュラムを組んでいます。

● 授業時間外でできる自宅課題を提案しています。絵画への関心を持つきっかけを作り、またそれぞれの生徒が長所を伸ばし、苦手を克服できるようサポートしていきます。



動物園でのスケッチ、取材



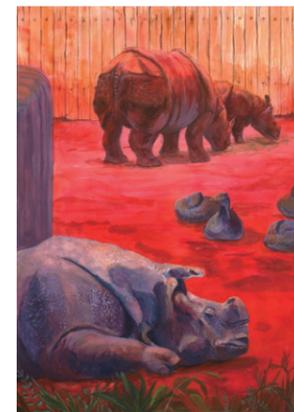
自由制作風景



短時間クロッキー



水彩クロッキー



自由制作(動物園での取材を元に)



自由制作風景



絵画鑑賞課題

好きな絵画やイラスト作品を選び、構成を考えレポートにまとめます。配置や色彩にどのような工夫がされているかを読み解いていくことで、自身の制作にも活かせる要素を探す課題です。



文章課題

考えやアイデアを形にする練習として文章課題を取り入れています。人に自分が作ったものを見せることに慣れるところから始めていきます。

彫刻科

かたちを観る。 カタチを考える。

普段当たり前に見ている自分や家族、友人の顔、動物や植物、乗り物や身の回りの道具にいたるまで、すべてのかたちに意味があります。そのようなかたちはどのように生まれ、なぜそう見えるのでしょうか。かたちを観てつくり、その不思議にふれることが「彫刻」の第一歩です。かたちの成り立ちを理解し構成する力は、VRやデジタル造形技術の普及によって、今さらにその価値を深めています。受験を通して彫刻を学ぶことは、作品をつくる楽しさだけにとどまらない、将来の職業を選ぶ土台作りにもつながる大切な経験になるでしょう。

昼間部

高卒生または同等の資格を認定された方対象
月曜～土曜 / 9:30～16:30

夜間部

高2・高3生対象
●月曜～金曜 / 17:10～20:10
●水曜～金曜 / 17:10～20:10
土曜 / 14:00～20:00

基礎コース

高1・高2生対象
以下の日程より選択(6時間/週)
●土曜 / 14:00～20:00
●水曜～金曜 / 17:10～20:10・土曜 / 17:00～20:00
3時間オプションプラン
「基礎コース」の受講に加え、下記の日程より選択(3時間/週)
●水曜～金曜 / 17:10～20:10・土曜 / 17:00～20:00

● 彫刻の基本を大切に

彫刻科は「彫刻作品を作るための力」を身につけることを最も大切にしています。深い自然観察とデッサンに基づく立体作品の構想力や、塑造における芯棒の構成力は彫刻の基本であると同時に、全ての試験課題に応用できる洞察力を育みます。

● 一人ひとりに寄り添った指導

少人数制を活かした、一人ひとりに寄り添った指導を実現しています。各自の学習状況や志望校に応じたカリキュラムを検討し、それぞれの合格へのロードマップを受験生と講師が共に考え実践することで、合格を確実なものにします。

● 作者としての自信をつける

彫刻制作を通して得られるものは、観察眼や造形力だけではありません。自分の力だけで立体作品を完成させるという経験は、誰かに何かを伝えたり、自分を表現することに対して自信を持つきっかけになります。自立した表現者への第一歩を共に踏み出しましょう。



かたちを「芯」から立ち上げる「彫刻」



自然のかたちは、それぞれ特有の硬さや重さ、バランスを持っていて、地球の重力を受けながら「立ち上がって」います。粘土を用いる塑造は、作りたいかたちが重力に負けず、かつそのボリュームを支えるための「芯棒」を作ることから始まります。彫刻科では、常に精度・強度の高い芯棒を作ることを重要視し、丁寧な指導を心がけています。

かたちの「芯」を見抜くための「デッサン」



石膏デッサンでは古典彫刻に表現されている、人体の構造や軸性、動きなどを観察しながら、かたちを「掴み」「触る」ように描写することによって理解し、立体や空間を構成・構築する感覚を身につけます。

講師による描き出しデモンストレーション

高1・高2生から始める基礎コース。実技と学科を両立しよう!



スポンジと手の塑造

「構図」をテーマにしたスライドレクチャー

立体や彫刻に興味を持ったなら、早めに彫刻科の基礎コースを受講してみよう。昼間部生に対して相対的に少なくなってしまう実技数をカバーすることができ、3時間オプションプランをつけることで、さらに段階的にステップアップ。受験生になった時に、継続的に実技に打ち込める体力作りをすることができます。また、学校の勉強との両立も自然と身につく、受験の準備が万全に、より高い目標設定ができるようになります。



専門分野へのスタートライン 基礎コース

基礎コースは絵画や彫刻に興味を持っている高1・高2生を対象にデッサンの基礎だけではなく、その科でしか触れられない素材に触れたりその科独自の課題に挑戦したりと、より専門性を高めた基礎を養うための講座です。

芸大・美大入試ではデッサンに加えて専門実技試験が課されることが多く、各科それぞれで使用する素材に違いがあるうえに、各大学で出題傾向も違います。そういった専門的な技術や知識はその科で学ばない限り身に付きません。まだ受験までに余裕があるからこそ、デッサンのみに留まらず専門性の高い授業にいち早く触れて、本当にやりたいことをじっくり見つけていきましょう。

総合型選抜・学校推薦型選抜入試を考えている方は、高1・高2生の内からポートフォリオ作成や持ち込み作品の準備を見据えてカリキュラムを組むこともできますので、ご相談ください。

● デッサンから見えてくる各科の違い

油画科

油画科は木炭と鉛筆を併せて使い、個々の視点やイメージを主軸に絵画表現を探求します。



● 油画科 / 静物素描 / 木炭

日本画科

日本画科は観察した対象に迫り、鉛筆を使って丁寧に写しとっていき力を養います。



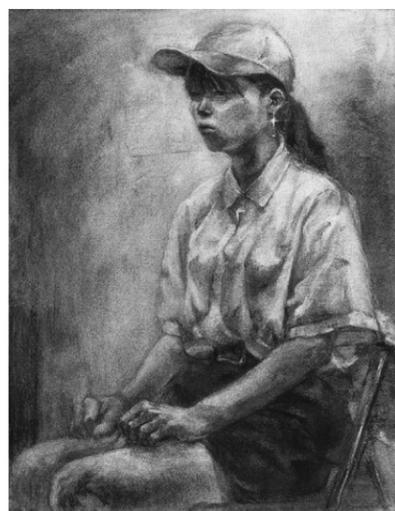
● 日本画科 / 静物デッサン / 鉛筆

彫刻科

彫刻科は木炭を主に使い、対象の形態や量感、設置状態などに目を向け、立体が触れるように描きます。



● 彫刻科 / 自画像デッサン / 木炭



● 油画科 / 人物素描 / 木炭



● 日本画科 / 石膏デッサン / 鉛筆



● 彫刻科 / 人物デッサン / 木炭

● 各科でしか学べない素材や課題

油彩

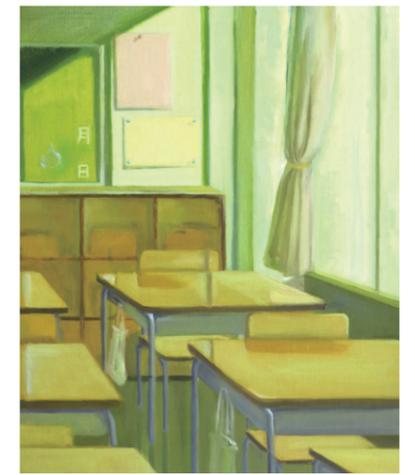
透明、不透明、タッチ、凹凸、ツヤの有無など多様な表現が可能な油絵具を使って、イメージを形にする楽しさを学びます。



● 油画科 / 静物油彩 / 油絵具



● 油画科 / 想定油彩「育つ様子」 / 油絵具



● 油画科 / 想定油彩「任意の場と人の関係」 / 油絵具

着彩写生

色のついたデッサンと呼ばれ、透明水彩を用いて色彩もふくめたモチーフのありのままを目の前に描き出していきます。



● 日本画科 / 着彩写生 / 透明水彩



● 日本画科 / 着彩写生 / 透明水彩

立体塑造

モチーフの形や状態をあらゆる方向から捉えて、水粘土を用いてそのまま目の前に同じものを出現させます。



● 彫刻科 / 自刻像 / 水粘土



● 彫刻科 / 模刻「グデア」 / 水粘土



● 彫刻科 / 構成塑造「自身の足」 / 水粘土



夜間部生/想定油彩[sign]/F15



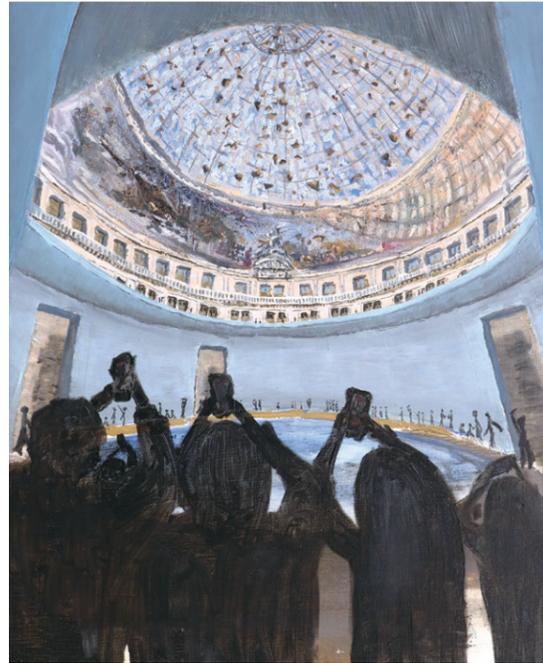
夜間部生/想定油彩「成長または老化」/F15



夜間部生/静物油彩/F15



昼間部生/静物油彩/F15



夜間部生/想定油彩「変容」/F15



2025年度 武蔵野美術大学 油絵学科油絵専攻 入試再現作品/油彩/F15



昼間部生/静物油彩/F15



2025年度 東京造形大学 美術学科絵画専攻領域 入試再現作品/油彩/F15



夜間部生/想定油彩「icon」/F15



昼間部生/静物素描/木炭紙



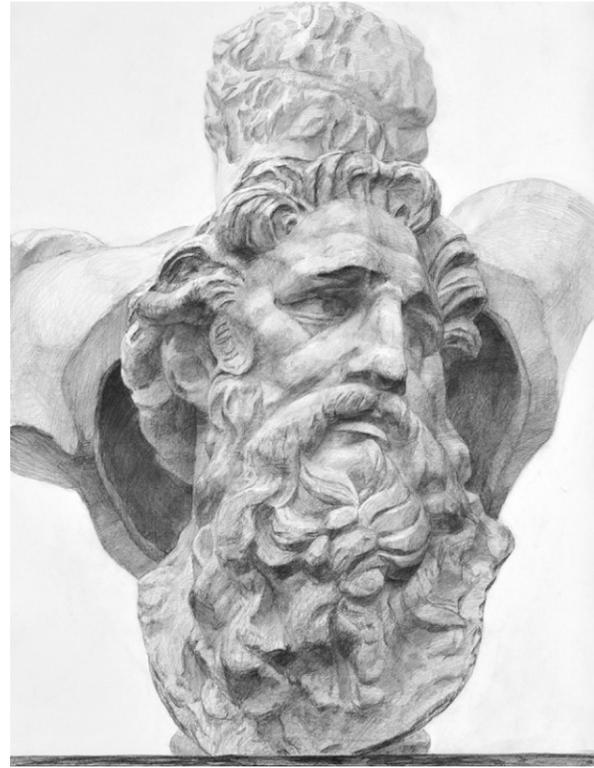
昼間部生/静物素描/木炭紙



夜間部生/静物素描/木炭紙



石膏デッサン/鉛筆



石膏デッサン/鉛筆



着彩写生/透明水彩



着彩写生/透明水彩



静物デッサン/鉛筆



石膏デッサン/鉛筆



静物デッサン/鉛筆



着彩写生/透明水彩



着彩写生/透明水彩



着彩写生/透明水彩



素描「ボルゲーゼのマルス」/木炭紙/夜間部生
/東京藝術大学合格者作品



素描「瀕死の奴隷」/木炭紙/夜間部生
/東京藝術大学合格者作品



塑造「ガットメラータ」/水粘土/夜間部生作品



塑造「手とコピー用紙の構成」/水粘土



素描「自画像」/木炭紙判画用紙/基礎コース生作品



2025年度東京藝術大学美術学部彫刻科 合格者入試再現作品



素描「クマのぬいぐるみとパイプ椅子」/木炭紙判画用紙/夜間部生作品



塑造「弥勒菩薩をモチーフに自由に彫刻しなさい」/水粘土

デザイン・工芸科 芸大コース

藝大合格への第一歩

デザイン・工芸科芸大コースでは、「観ること」「知ること」「感じること」「考えること」「表わすこと」の5つを柱とした指導方針で、東京藝術大学への合格に向けた高度な表現力を養います。ものづくりに必要なこれらを会得するために、造形の基本となる考え方を一から説明するとともに、さまざまな表現方法を提案することで発想を広げ、学んでいきます。



昼間部 芸大コース

高卒生または同等の資格を認定された方対象
月曜～土曜 / 9:30～16:30

● 初心者から経験者まで、個別に対応した授業

東京藝術大学の入試において、デザイン科・工芸科には基礎的な部分で共通する点もありますが、科ごとに課題内容、求められる人材は違う為、それぞれ異なる課題カリキュラム、指導を行っています。
単なる入試課題を反復的に制作するのではなく、課題の難易度・種類・制作時間までできる限り個々のレベルや傾向に合わせて対策することで、短所を着実に克服し、長所をしっかりとアピールしていく、一人ひとりに必要とする力を養います。

● 藝大デザイン科とは

デザインの在り方を総合的な視点から学び、理解を深めていくデザイン科では、観察力をベースとした広い視野でのバランス感覚、出題意図を踏まえた柔軟な発想力に伴い、それらを的確に他者に伝達できる豊かな表現力も重要視されています。

● 藝大工芸科とは

金属や漆、陶芸など様々な素材から、丁寧な手作業での工程を積み上げ、素材の魅力を学んでいく工芸科では、画材への取り組みや、材質への表現力、立体を意識した構造感、作品を作りきる高い完成度を通して、ものづくりに対する熱意が求められています。



デッサン・平面構成・立体構成を基礎からしっかり学ぶ



構成デッサンのための手のデッサン



平面構成のための観察と表現の演習



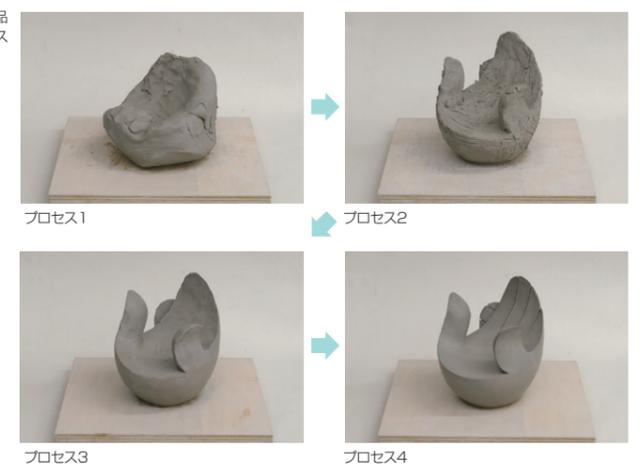
立体構成のための観察と表現の演習

完成までのプロセスをわかりやすく学ぶ



石膏デッサン
構図・形のポイント・制作プロセスの参考資料

東京藝術大学 デザイン科 入試再現作品
立体構成制作プロセス



プロセス1

プロセス2

プロセス3

プロセス4

デザイン・工芸科 私大コース

あなたの夢への第一歩

デザイン・工芸科私大コースでは、「観ること」「知ること」「感じること」「考えること」「表わすこと」を柱に、これらを分かりやすく教え、モノを創造していくおもしろさと喜びを制作の現場から伝えていくことが指導方針です。

生徒には必ず「将来どういうデザインをやりたいの?」と尋ねます。大学卒業後の自分の将来像をイメージしてこそ、美大受験に向けて頑張ることができます。私たちは生徒の夢の実現のために、長年多くの合格者を輩出してきたノウハウで、一人ひとりのレベルに合わせて実技力を伸ばし、さらに個性を引き出す指導を行っています。あなたの夢「デザイナー、工芸家」への第一歩、「美大合格」のために全力を尽くす。それが代ゼミのデザイン・工芸科私大コースです。



昼間部 私大コース

高卒生または同等の資格を認定された方対象
月曜～金曜 / 9:30～16:30

● 志望校合格

実技を始める時期は人それぞれです。実技初心者には、鉛筆の削り方など道具の使い方から始まり、モノの見方や考え方、表現テクニックなどをわかりやすく。実技経験者には、実技をより深く追究できるように、参考作品やデザイン資料の活用、講師の豊富な知識と指導力で更なるレベルアップを目指します。一人ひとりの生徒に合わせた指導が「志望校合格」を実現しています。

● 一人ひとりに明確な目標とわかりやすいアドバイス

授業の始めに課題の意図を解説し、達成目標を明確にしたうえで実技に取り組みます。講評では、その成果を確認し、未達成の要件やまた新たに生じた問題点を分析して一点一点講評し、次の課題に反映させます。制作したすべての作品は提出・採点・記録したうえで、個別にアドバイスしながら返却します。生徒と講師が常に学習の進行状況を確認し合い、問題点を具体的に打開していきます。

● デザイン思考を高め、多様化する入試に対応

美大合格はデザイナーになるための通過点。授業ではデッサンや色彩構成を通じて「デザイン思考」を高めていきます。デザイン思考とは、問題解決のために形や構成や色などを駆使すること。自分のアイデアを第三者に伝えるために、よりおもしろく、よりカッコよく表現できるようになるために日頃から意識させます。また、デザインや社会に関心を持つために、デザインについての様々な講義も行っています。これらの先を見据えた授業内容で、多様化する入試に対応する力を身に付けます。



オリジナル資料で初心者にはわかりやすく、経験者には納得の充実した授業内容です。



スライドレクチャー



オリジナル資料

段階的に明解な授業内容でレベルアップ
[基礎課程・応用課程・実践課程]

基礎課程 入試はもちろん、将来に必要な造形力やアイデアの元になる基礎を学びます。	応用課程 深い表現の可能性や、自分らしい個人的な視点と表現を追求します。
	実践課程 入試傾向を分析した課題で、時間対応を含め自分らしい表現を追求します。

一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜・帰国生など、様々な入試に個別のカリキュラムで対応。

一般選抜 満点作品 多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 150点満点作品 	総合型選抜・学校推薦型選抜 多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 学校推薦型選抜合格者 入試再現作品 多摩美術大学 メディア芸術コース 総合型選抜合格者 入試再現作品 	多摩美術大学 生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 学校推薦型選抜合格者 入試再現作品 多摩美術大学 創業デザインコース 総合型選抜合格者 提出作品
---	---	---

デザイン・工芸科 夜間部・土日部・土日基礎部

自分に合った学び方で 現役合格を目指そう!

将来デザインや工芸の世界を目指す高校生に向けて、代々木ゼミナール造形学校では夜間にコツコツと時間をかけて学んでいく「夜間部芸大私大コース(月・金/水・土)」、土日に集中して学ぶ「私大土日コース」、高1・高2生を対象に週に1日無理なく学べる「高校生土曜コース」を設置しています。自分のスケジュールと学び方に合った最適なコースを選んで、高校との両立を図りながら現役合格を目指そう!

	授業時間	月	火	水	木	金	土	日
夜間部 芸大私大コース(月・金)	15時間/週	●	●	●	●	●	—	—
夜間部 芸大私大コース(水・土)	15時間/週	—	—	●	●	●	●	—
私大土日コース	12時間/週	—	—	—	—	—	●	●
高校生土曜コース	6時間/週	—	—	—	—	—	●	—

●の数字は授業時間です。



夜間部 芸大私大コース

高2・高3生対象
 選択 ●月曜～金曜 / 17:10～20:10
 ●水曜～金曜 / 17:10～20:10
 土曜 / 14:00～20:00

土日部 私大土日コース

高2・高3生対象
 土曜 / 14:00～20:00
 日曜 / 9:30～16:30

高校生土曜コース

高1・高2生、初心者対象
 土曜 / 14:00～20:00



● 基礎から応用へ。実力がぐんぐん身につく!

現役合格に向け高い技術力を得るためには、まず基礎力を充実させることが大切です。道具の使い方から始まり、構図のこと・立体感や質感のこと・描写のこと・色彩のこと・形やバランスのこと…など、実技が初めての人にもわかりやすく学べる授業を行っています。カリキュラムは合理的に組まれ、基礎力の充実から応用力の習得へ、実力がぐんぐん身につきます!

● 考える力を養い、表現の世界を広げる!

作品制作を通じて造形面での技術・知識が深まると共に、より問われるのは「その人らしい表現であるか」ということです。課題の要求にただ表面的に答えるだけではない、作者のイメージが強くこめられた作品を仕上げたい。私たちは毎回の課題において「どのように考えるか」を問いかけます。考える力を養い深めることで表現の世界は広がり、あなたの作品はより強いものになるでしょう。

● 入試のツボがよくわかる!

芸大・美大の入学試験は各大学・専攻ごとに多様な傾向を持っており、合格するためにはそれらの傾向を的確に理解し作品に反映させる必要があります。入試課題において何が求められているのか? その理由はなぜなのか? つまり何に気をつければよいのか。授業の中で入試のツボをわかりやすく解説し対策課題を行い、現役合格を確実なものにします。



夜間部は併願受験に
最適なカリキュラム

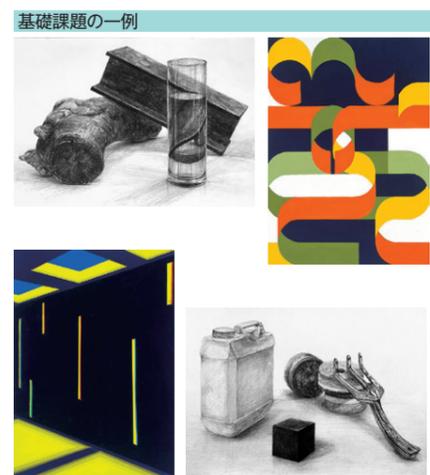
総合型選抜・学校推薦型選抜を強力サポート! 万全の準備で合格へ。

総合型選抜・学校推薦型選抜は各大学・専攻によって準備するものが異なります。

「ポートフォリオってどうつくればいいんだろう?」「持参作品はどう選べばいいのかな?」「プレゼンテーションってどうしたらいいの?」「面接はどうすればいいの?」など、様々な疑問や不安を解消! その人その人の持ち味を活かした自己表現となるよう、エントリーシート記入方法・面接についてのアドバイス、そしてポートフォリオの制作方法や発表の仕方などを具体的に強力にサポートします。



初心者にも安心、基礎をわかりやすく学んで、一人ひとりの志望校に対応。





石膏デッサン「マルス」/木炭紙サイズ



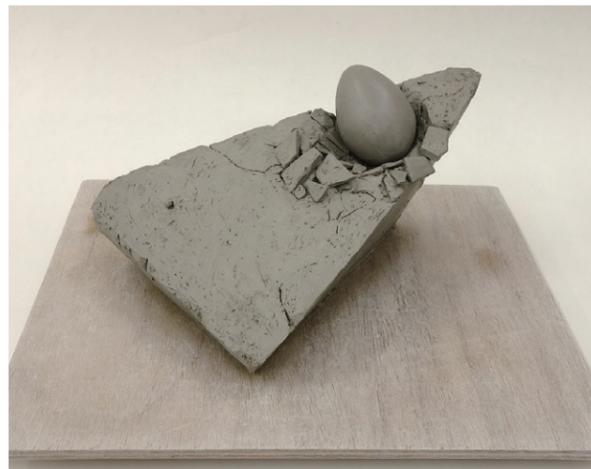
構成デッサン「ケーキ箱・アヒルのおもちゃ・スズランテープくるみ」/芸大サイズ



色彩構成「コーラ瓶・チェーン・うすらの卵」をモチーフに構成/B3サイズ



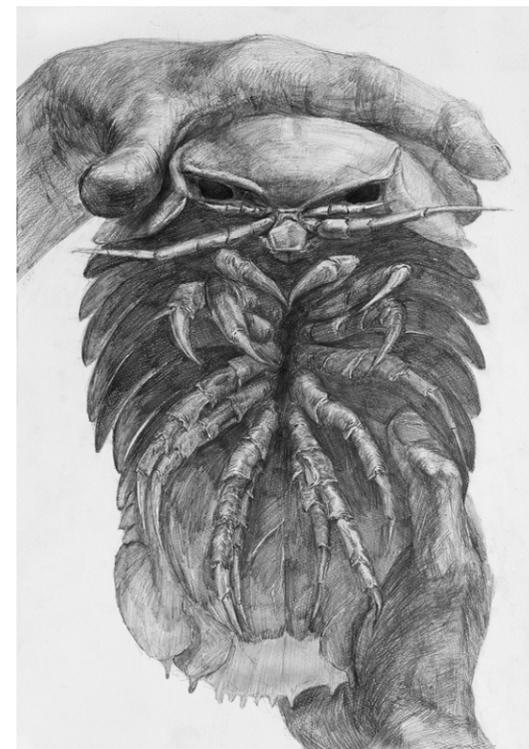
色彩構成「グレープフルーツ・蚊取り線香・試験管」をモチーフに「昆虫」をテーマに構成/B3サイズ



立体構成「卵と任意の形態との関係」をテーマに構成



立体構成「みょうが」をテーマに構成



手のデッサン「両手と生き物」をテーマに構成/B3サイズ



手のデッサン「両手とおにぎり」をテーマに構成/B3サイズ



卓上デッサン/B3サイズ



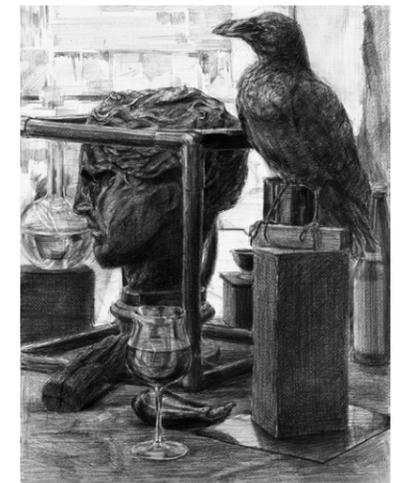
有色下地デッサン「目(石膏)」/B3サイズ



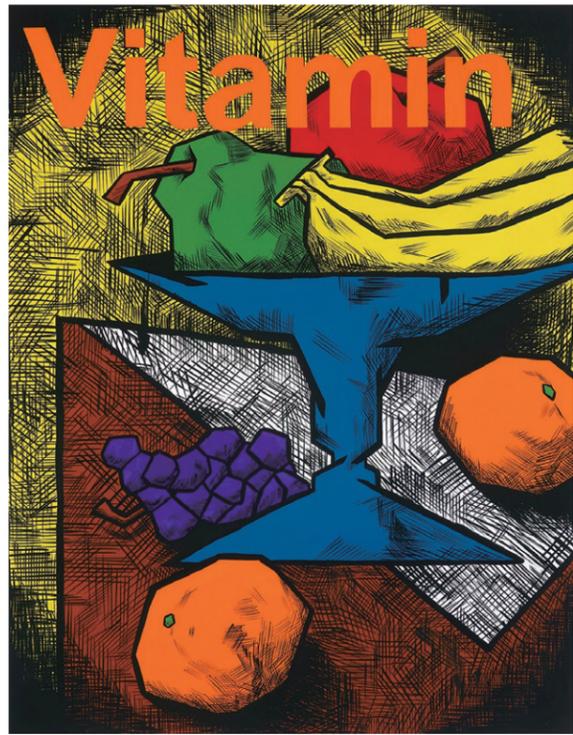
静物デッサン/B3サイズ



静物デッサン/B3サイズ



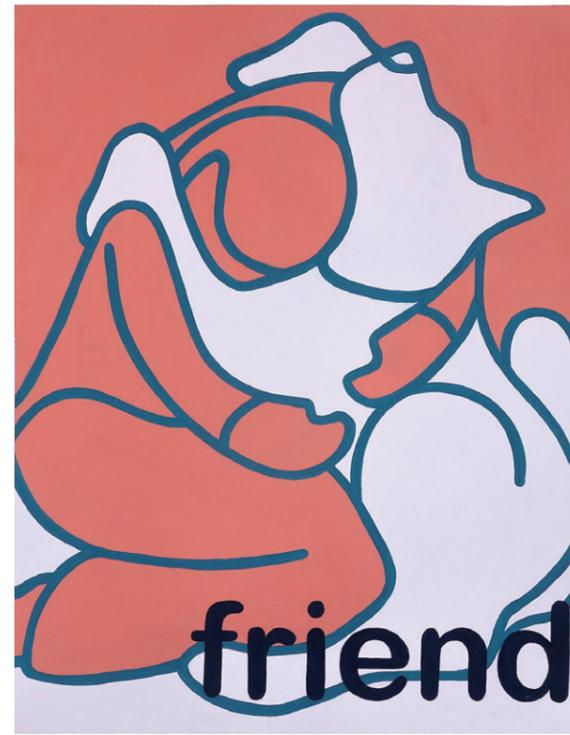
静物デッサン/木炭紙サイズ



色彩構成 テーマ「果物」と文字「Vitamin」を構成/B3サイズ



色彩構成 テーマ「鞆」と文字「Bag」を構成/B3サイズ



色彩構成 テーマ「ペット」と文字「friend」を構成/B3サイズ



色彩構成 テーマ「勝負」と文字「WIN」を構成/B3サイズ



色彩構成 「斜め」をテーマに構成/B3サイズ



色彩構成 「ホイッスル」をモチーフに構成/B3サイズ



色彩構成 「物と情報」をテーマに構成/B2短辺の正方形サイズ



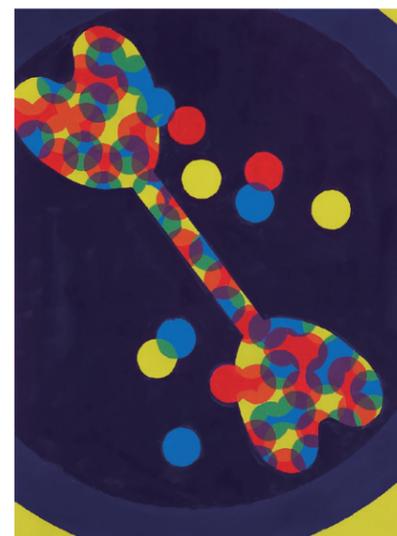
色彩構成 「混ぜる」をテーマに構成/B3サイズ



色彩構成 「混ぜる・交じる」をテーマに構成/B3サイズ



色彩構成 「透明ホースと手」をモチーフに構成/B3サイズ



色彩構成 「鈴」をモチーフに「音」のイメージを構成/B3サイズ



色彩構成 「筒状ウレタン」をモチーフに「喜び」のイメージを構成/B3サイズ

学科 英語・国語

学科力 + 実技力

↓
代ゼミ造形学校
↓
芸大美大全員合格!

芸大・美大に合格するためには実技だけでなく、学科においても高得点が要求されます。

造形学校の学科は、芸大・美大を志望する方のための「英語」と「国語」に特化した講座です。今の実力に不安を抱える人の悩みに応えられるよう、全員合格を目標とし、無理なく・無駄なく実力アップを図ります。



造形学校ならではの！
美術のプロによる他では体験できない美大入試に直結した授業！

美大英語

月曜 / 17:10~19:10
(昼間部・夜間部・土日部・夜間基礎部・土日基礎部の高2生以上対象)

21世紀以降、急速に変化する欧米社会の様態を手際良く分析する論説文。武蔵野美大の出題のメインとなる英文はやがて日本にも波及する社会の変動を、未来の美術人に考えさせる良問ぞろい。対して「教養」系の知識を習得できるライトエッセイが、多摩美大の出題のメインです。こちらもしっかり読み解くことで、未来の美術人にとって必要な教養が習得できる良問ぞろい。美術人には美術人にとって有効な外国語学習法があります。中学3年間で学ぶ英文法を基に、「ためになる」英文を少しずつ着実に読んでゆくこと。それが造形学校「美大英語」の20年来の方針です。

美大国語

火曜 / 17:10~19:10
(昼間部・夜間部・土日部・夜間基礎部・土日基礎部の高2生以上対象)

芸術・美術に関する読みごたえのある評論文を出題の中心とする武蔵野美大。人間の内面に関する興味深いエッセイを出題の中心とする多摩美大。いずれも毎年出題される文章は、大学入学前に一度は読んでおきたい名文ばかりです。こうした文章を読み取り、未来の美術人として、改めて人の心を感じ取り、考察すること。併せて、多摩美大の小論文にトライすることで、自らの心と考えを記す方法を確立すること。それが造形学校「美大国語」の20年来の方針です。

英語 武蔵美・多摩美は読解派!

私立美大の両雄である武蔵美・多摩美の一般選抜の「英語」はオーソドックスな英文読解問題。中学3年間で学ぶ英文法と1,200語ほどの基本単語をしっかりと習得していれば、十分に手の届く出題内容です。しかも、大学入学後あるいは社会に出てから「英語4技能(読む・聴く・書く・話す)」を身につけるための基礎力が養える良問が揃っています。英語4技能の習得が叫ばれる今こそ、武蔵美・多摩美が出題した英文を精読することで、英語に対する苦手意識を克服することが大切だと考えます。

国語 武蔵美・多摩美は文学派!

私立美大の両雄である武蔵美・多摩美の「国語」の一般選抜は、伝統的に「文学」からの出題がメイン。しかも多摩美大では、出題文(エッセイが大半)の趣旨を踏まえた上で400字の小論文を作成します。未来の美術人にとって何より大切なのは、小説やエッセイの読解を通じて人の心を知ることだと考えます。今こそ、武蔵美・多摩美の出題文をじっくり読み込みましょう。

学科講座のみの受講も可能ですが、他の実技講座と組み合わせて受講することをおすすめします。

● 演習本位

英語・国語のテキストは、どちらも武蔵美・多摩美の過去問から「良問」を厳選して収録しています。こうした実際の出題を、まず積極的に解くことで基本を身につけていきましょう。「基礎」を作ってから芸大・美大対策? それでは何年かかっても受験すらできません。

● 復習こそ力なり

芸大・美大受験生にとって最大の悩みは、どうあがいても「学科対策」に使える時間がほとんどないことです。「美大英語」「美大国語」では、代ゼミの他の講座と異なりテキストの予習を課さず、復習に重点を置いた指導を行います。短時間で効率よく、どこをどのように復習すれば良いのか、毎回の授業を通じて的確にアドバイス。学科対策は「やり方」です。

● 「美術のプロ」による指導

私立美大の英語・国語の出題傾向・内容はもとより、美術を志す人には、それなりの学科対策の立て方・勉強の仕方があるのです。東京藝大で美術史・美学を専攻した専任講師が、美術人ならではの学科対策を無理なく無駄なく伝授します。全国の美術予備校で「唯一無二」の学科授業です。



1年間、ともに頑張りましょう。

「学科嫌い」の人のために。

佐々木泰樹 | 学科担当講師

「母校」造形学校で20年来「学科」授業を担当する佐々木です。卒業した専攻こそ美術史・美学ですが、もともと実技志望だったため、学科、特に英語は大嫌いでした。国語も本を読むのは苦にならなかったものの、問題(特に選択肢問題!)を解くのが好きではなく、高校3年間は理系科目も文系科目も立派に落ちこぼれ。そうした私を救ってくれたのが、美大の一般入試の英語と国語(特に多摩美の小論文)。それに芸大の2次試験(芸術学科の英語・歴史・論文)でした。とりわけ、英語については、面白い文章を読めば日本語以上に興味深い言葉だということに気がきました。武蔵美・多摩美が毎年出題する英文・邦文は、未来の美術人のために出題担当の先生方が選び抜いた文章です。こうした英文を読み解くことで、それまで関心のなかった文法事項にも興味を持てるようになり、ひいては日本語の構造にも注意するようになりました。もとより美術人は、興味ある物事の「仕組み」に関心を持つ性質があります。その性質を、これまで以上に発揮させてくれるのが、武蔵美・多摩美の英語・国語なのです。トライしないのは、あまりにももったいなさすぎる。1年間、一緒にトライしていきましょう。4月のスタート時点でかなり苦手意識の強い人でも、秋口には億劫ではなくなってきます。また、学科に対する苦手意識が薄まるにつれて、ますます美術人になりたい! という気持ちが強まってくる。これ、本当の話ですよ。

代ゼミ造形学校の「学科力」3つのポイント。



●講師は経験豊富な専任講師

造形学校で英語・国語を担当する講師は、学科レベルでの難関校として知られる東京藝大芸術学科(美学・美術史専攻)卒業の専任講師。ひと味もふた味も違うオリジナルのテキストと授業で、学科対策は万全!

●クラスは12名限定

英語・国語とも、1クラスの受講生は12名まで。講師と生徒が密に対話できる、一斉授業と個別指導の長所を合わせたクラス編成。質問もしやすい雰囲気です。

●英語・国語を超えた論述力

機械的な知識の習得だけでなく、小論文の授業を取り入れて、未来の美術人に必要な論述力の養成を目指します。これからの時代、最も大切なのは、日本語のブラッシュアップです。

学科試験対策 Q&A

Q そもそも学科試験対策は必要ですか?

A 周りとも差をつけやすい「学科試験対策」は、合格に必須です!

多摩美/武蔵美の一般選抜の配点比率は、「実技:学科=300:200」が多い!
※共通テスト併用など一部例外もある

近年の合格最低点を見る限り、「実技も学科も十分に対策する」生徒が合格しやすい! 学科試験も侮れない!

学科試験対策講座 受講のススメ

予習 授業で扱う分野を見て分からない箇所を確認しよう!

授業 分からなかった箇所を中心に、集中して受けよう!

復習 授業で習った範囲をすぐに確認しよう!

練習 授業で習ったことを活かすために、繰り返し解こう!

このサイクルを継続させることを心がけましょう!

Q 「美大英語/美大国語」以外におすすめの講座はありますか?

A 本母校で実施される以下の講座/コースがおすすめです。

①共通テスト対策講座

こういった方におすすめ!

- 地歴公民が不安…、新課程入試の過去問も少ないから、しっかりと対策したい!!
- 共通テストを利用して多摩美/武蔵美を受験したい。でも入試本番までに間に合うか心配…。国語の出題形式も変わったし、何とか合格点を取りたい!

②基礎からの情報I

こういった方におすすめ!

- 藝大のデザイン科を受験するけど、「情報I」が必須。こっちは対策しなきゃだめどうしたら…
- 共通テストで「情報I」を受験するけど、せっかくならしっかりと勉強して満点目指したい!

③本母校大学受験科(高卒生のみ対象)

こういった方におすすめ! 現役生、および造形学校の大学受験科生は申込できません。

- 土日に行われる建築科の授業を受講するけど、平日は何をしようかな…。この前受験した共通テストもあまり良くなかったし、実技だけでなく、学科も確実に点数を取りたい!!
- 筑波大学(芸術)を受験したいから、共通テストも失敗できない。まんべんなく対策できる方法ってありますか?

●おすすめポイント

- ・学期/講習会通して、すべての科目の受験対策が可能!
- ・新課程入試の出題傾向を徹底分析!
- ・良問揃いのテキスト、魅力あふれる講義を通して、基礎力を高めます

●おすすめポイント

- ・受験科目としての「情報I」を基礎から徹底的に講義!
- ・プログラミングの対策もバッチリ
- ・基礎からの情報Iで教科書を網羅し、共通テスト対策は学期/講習会設置の講座で対策万全!

●おすすめポイント

- ・受験に必要な科目を、年間通してコツコツ学べる
- ・共通テストの対策を同時に行うこともできる!!

Q 本母校実施講座の授業形式にはどういったものがありますか?

A 対面授業と映像授業(フレックス・サテライン)があります。

対面授業	映像授業(フレックス・サテライン)				
<p>迫力と緊張感のある授業を校舎で!</p> <p>特徴① 講師や仲間の熱意を感じながらモチベーションを保てる</p> <p>特徴② わからないことはすぐに質問できる</p> <p>特徴③ 欠席しても安心! 映像授業の振替制度あり(所定の手数料が必要な場合があります)</p>	<p>忙しい高校生でも無理なく受講できる!</p> <p>特徴① 校舎での個別ブース受講と、自宅などでのモバサテ受講を組み合わせることができる</p> <table border="1"> <tr> <th>個別ブース</th> <th>モバサテ</th> </tr> <tr> <td>校舎に設置された個別ブースを予約して受講します。1席ずつ仕切られているので、集中して受講できます。</td> <td>お手持ちのタブレット端末・スマートフォン・PCで受講します。代ゼミ校舎に通えなくても、映像授業が受講できます。</td> </tr> </table> <p>特徴② 部活や学校行事で忙しくても、自分に合った受講計画を立てられる</p> <p>特徴③ 質問用紙で質問できるから、疑問がそのままにならない</p>	個別ブース	モバサテ	校舎に設置された個別ブースを予約して受講します。1席ずつ仕切られているので、集中して受講できます。	お手持ちのタブレット端末・スマートフォン・PCで受講します。代ゼミ校舎に通えなくても、映像授業が受講できます。
個別ブース	モバサテ				
校舎に設置された個別ブースを予約して受講します。1席ずつ仕切られているので、集中して受講できます。	お手持ちのタブレット端末・スマートフォン・PCで受講します。代ゼミ校舎に通えなくても、映像授業が受講できます。				

代々木ゼミナールでは、あらゆる受験生に対応できるよう、充実した講座ラインナップをご用意しています。詳細は本母校の各種パンフレットをご覧ください。

建築科

さあ、建築を始めよう!

代ゼミ建築科では「描くこと」「つくること」「考えること」を柱に、全ての基本となるデッサン力とモノをつくる発想から表現するまでをわかりやすく教えます。そのプロセスの中で必要な能力を養い、表現する楽しさや創造するおもしろさを伝えるとともに、建築への興味と探究心を高めます。

建築は今、社会の変化や技術の革新によって、新しい発想や今までにない形や空間が生まれ、さらなる新しさを求め、日々進化しています。

ぜひ、しっかりとした画力と、広い視野に立つ思考力や洞察力を獲得し、新しい建築の世界に一步を踏み出してください。

「代ゼミの建築」が全力で応援します。



芸大コース

高卒生、高2・高3生対象

土曜/14:00~20:00 日曜/9:30~16:30

藝大受験に最適な週2日の土日コースです。必要な画力と表現力を養いながら、発想の仕方や空間を構想するプロセスを学びます。

藝大建築科に多くの合格者を出して来た確かな指導力で、入試実技が、現在の「総合表現」になってからも44人の合格者を輩出しています。

「鉛筆デッサン」「空間構成」「立体表現」「総合表現」を中心に建築写生や街のスケッチ、図学や空間図形演習、文章表現、宿題などを交えながら東京藝大への合格に向けた総合的な表現力を養います。

課題は各自のレベルや個性を考慮しながら様々なかたちや新しい視点の課題を心掛けています。授業では一人ひとりのエスキスを確認しながらアドバイスを加え、必要に応じて、講師と一緒に作品制作するデモンストレーションを行い「一つの解」として具体的に示します。講評では課題の意図やポイント、求めているものを明らかにしたうえで一点一点を講評し、作品の持つ可能性や、より魅力のある強いものにする方法やヒントを提示します。また、関連する建築や参考になる本などを紹介したり、建築のエピソードを交えたりして建築への探求心や情熱を高めていきます。

美大コース

高卒生、高2・高3生対象

選択 土曜/14:00~20:00 or 日曜/9:30~16:30

武蔵野美大や多摩美大などの建築・環境デザインを志望する生徒のための週1日コースです。確かなデッサン力と構成力を学びます。また総合型選抜や学校推薦選抜にも対応しています。

カリキュラムは志望校や学習レベルに合わせて対応致します。各自のスケジュールに合わせて土曜と日曜のコースが選択でき、振替も可能です。また、週1日しか通えない東京藝大志望の高校生にも対応しています。

工学コース

高卒生、高2・高3生対象

選択 土曜/14:00~20:00 or 日曜/9:30~16:30

早大一般入試の「空間表現」や「建築AO入試(創成入試)」、横国大の「総合型選抜」などの工学系建築実技対策のための週1日コースです。デッサンの基本を身につけ確かなデッサン力を養成します。

入試に必要な描写力や空間表現力、図学演習や立体構成、ポートフォリオや出願の作成指導など、志望校に合わせたカリキュラムで対応します。各自のスケジュールに合わせて土曜と日曜のコースが選択でき、振替も可能です。



●「描くこと」

実技のスタートは描くことから始まります。描くことによって「形や立体を把握する力」や「空間を意識する力」を養い、ものの見方と確かなデッサン力を培います。私たちは指導を行ううえで、作品の結果だけでなく、描いていく過程を大切に形を捉え方や表現の仕方を一緒に考えていきます。「描く力」はあなたの発想やつくるものを支える土台となる大事な基礎力です。

●「つくること」

実際に立体や空間をつくってみると、考えたり描いたりしただけではわからなかった多くのことに直面します。その一つひとつを検討し解決する中で建築的な考え方が培われます。立体作品は客観的に評価し見ることができ、制作した達成感や楽しさ、意欲や情熱も生まれてきます。積極的に手を動かすことによって、ものづくりに取り組む姿勢と発想力や造形力を養っていきます。

●「考えること」

新しいものをつくり出すためには、既存にとらわれない自由な発想と論理的な思考が必要です。「論理的」とは「前提とそれから導き出される結論との間に筋道が認められ、納得できること」です。ですから自分の考えたことや創造したものを自分以外の人に「かつこいい」「おもしろい」「なるほどね」と思わせるものにならなければなりません。どのように発想し、それをどのように空間に関係づけ、どのように表現するのか、「発想から表現」までのプロセスを通してその流れを理解し、必要なスタディやエスキスの仕方を学習し、構想力や創造力、表現力を養います。

建築系の総合型選抜・学校推薦型選抜・帰国生選抜には個別カリキュラムで受験対策します。

志望する大学によって試験内容や用意するものが異なり、受験には時間をかけた準備が必要です。また、大学にコンタクトすることが有利になる大学もあります。まず入試の疑問点をクリアし、合格までの流れを理解して、全体のイメージをつくりましょう。

「建築の志望動機」や「大学の志望理由」、「入学後の学習計画」、「これまでの活動報告」などの書き方やまとめ方は、建築的な視点から一人ひとりの性格や持ち味を考えて適切にアドバイスをします。提出する「ポートフォリオ」や「事前課題」の制作の仕方も一緒に考えて具体的にサポートします。

入試実技は基礎力を養う課題や傾向に合わせた課題、過去問などを用いて効果的に対応します。

合格実績

- 横浜国立大学/建築
- 武蔵野美術大学/建築
- 千葉工業大学/建築
- 早稲田大学/建築
- 多摩美術大学/建築・環境デザイン
- 昭和女子大/建築コース
- 明治大学/建築
- 日本女子大学/建築デザイン
- 神奈川大学/建築
- 東京都市大学/建築
- 共立女子大学/建築コース
- Rhode Island School of Design/建築
- 芝浦工業大学/建築AP
- 長岡造形大学/建築・環境デザイン
- Cornell University/建築



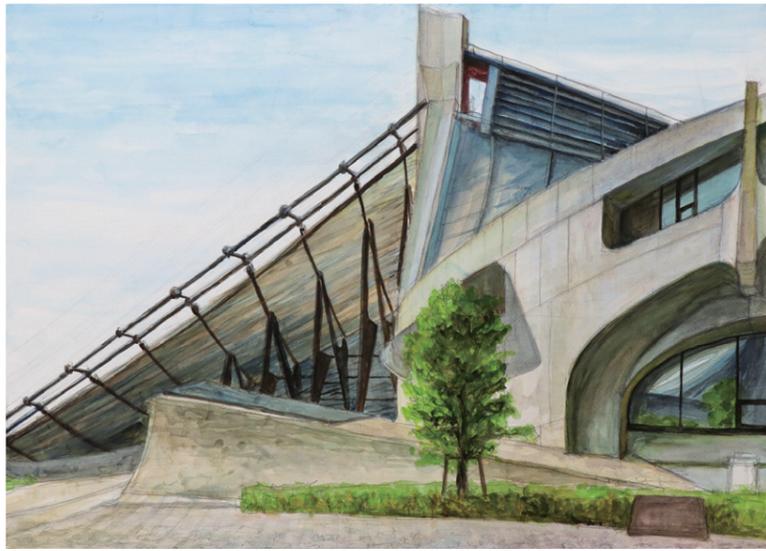
ポートフォリオ/早稲田大学「創成入試」



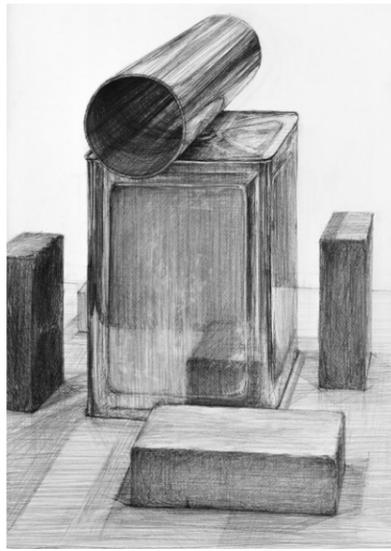
ポートフォリオ/Rhode Island School of Design



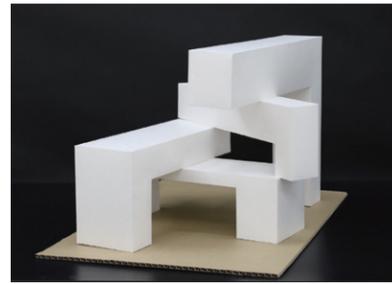
ポートフォリオ/早稲田大学「創成入試」



建築写生/B2サイズ



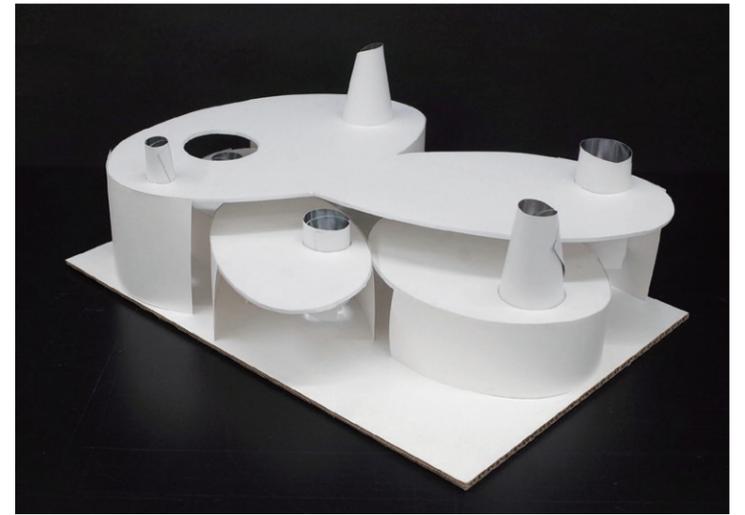
鉛筆デッサン[静物]/B2サイズ



立体表現/ケント紙



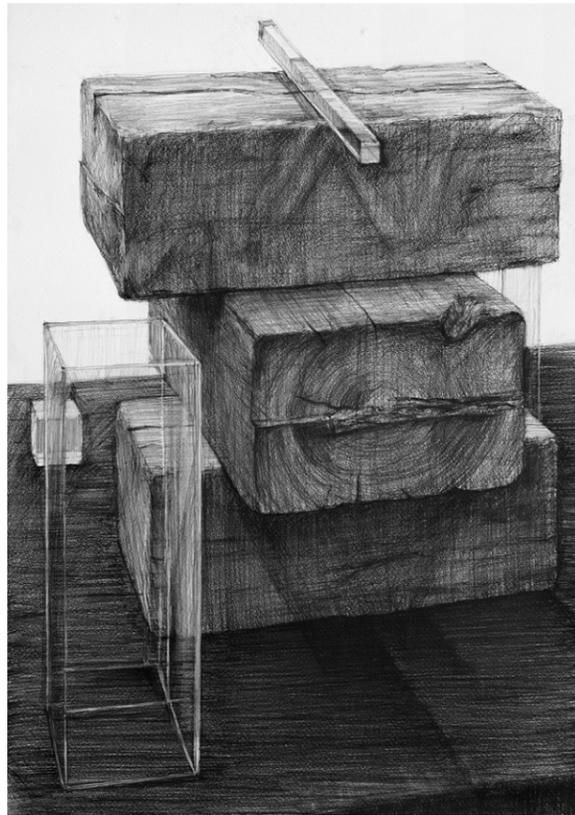
立体表現/ケント紙



立体表現/スチレンボードケント紙、オフメタル



建築写生/B2サイズ



鉛筆デッサン[静物]/B2サイズ



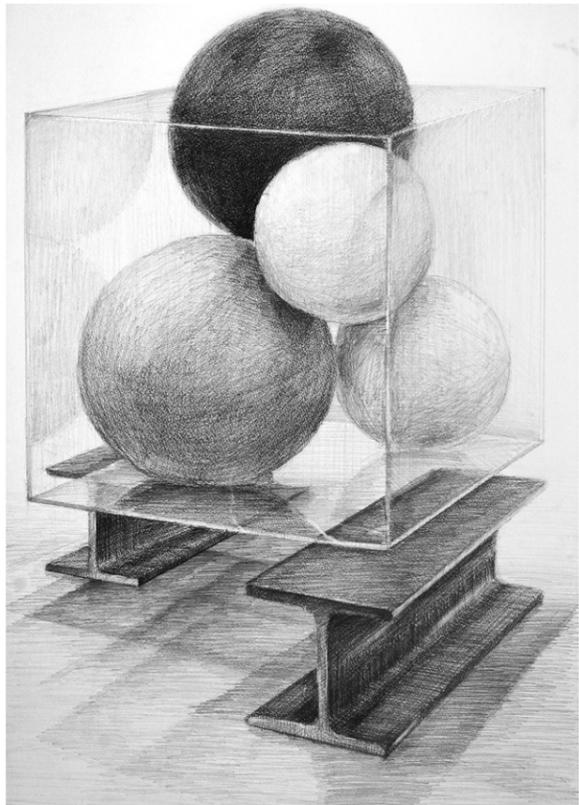
立体表現/ケント紙



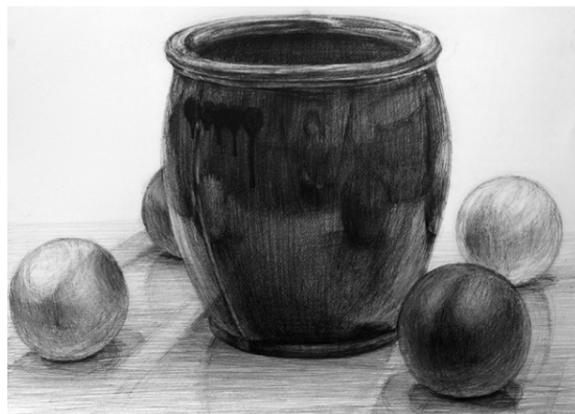
立体表現/竹ひごケント紙、薄紙



立体表現/スタイロフォーム



鉛筆デッサン[静物]/B2サイズ



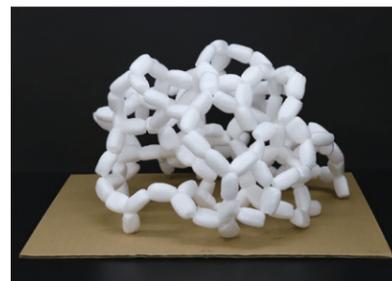
鉛筆デッサン[静物]/B2サイズ



立体表現/スタイロフォーム



立体表現/ケント紙



泡立つ

コンセプト
泡立つのイメージを表現し、空間の構成を表現した。

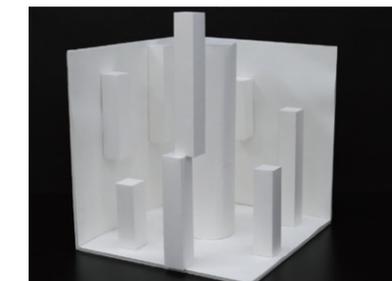
構造
モチーフの組み合わせを表現し、空間の構成を表現した。

工夫点
1. "繋がり"
モチーフの組み合わせを表現し、空間の構成を表現した。

2. "空間の構成"
モチーフの組み合わせを表現し、空間の構成を表現した。

3. "泡の層"
モチーフの組み合わせを表現し、空間の構成を表現した。

多摩美術大学 学校推薦型選抜実技/合格者作品 立体+プレゼンボード (入試対策で問題が約中)



2026年度 横浜国立大学 総合型選抜合格者作品/ 造形II



2026年度 横浜国立大学 総合型選抜合格者作品/ 造形II



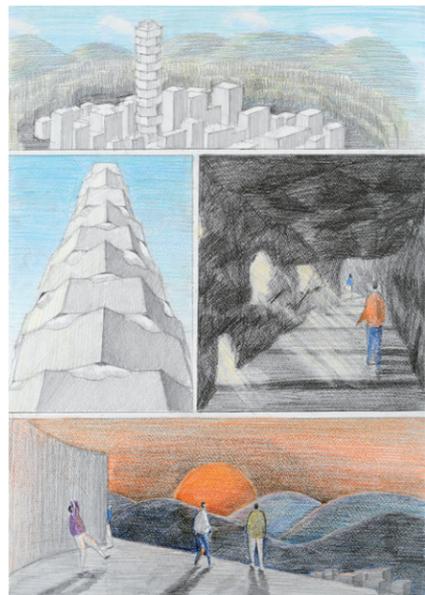
早稲田大学 空間表現/B4変形サイズ



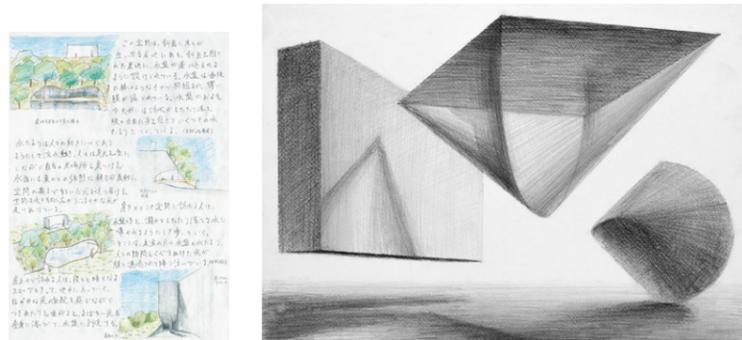
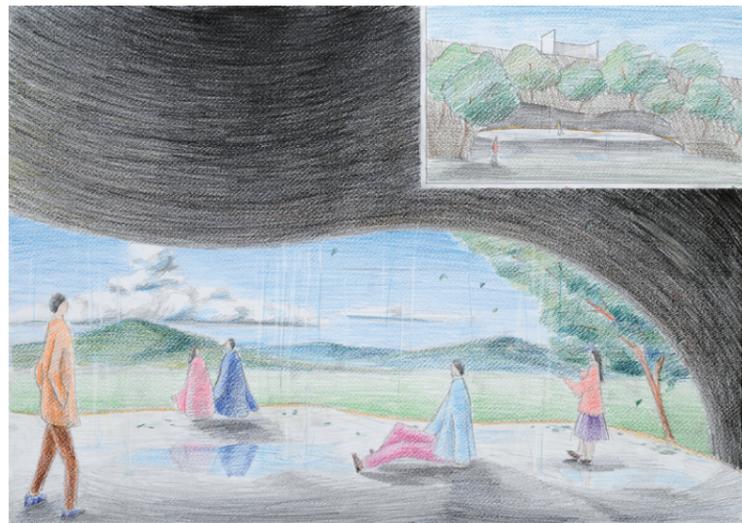
早稲田大学 空間表現/B4変形サイズ



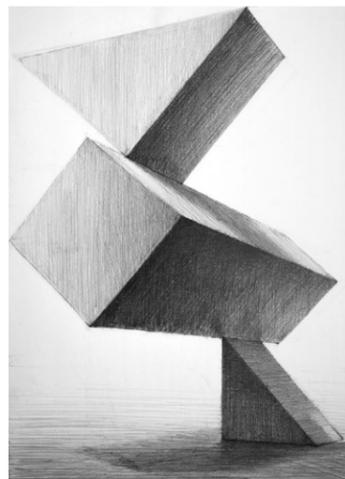
早稲田大学 空間表現/B4変形サイズ



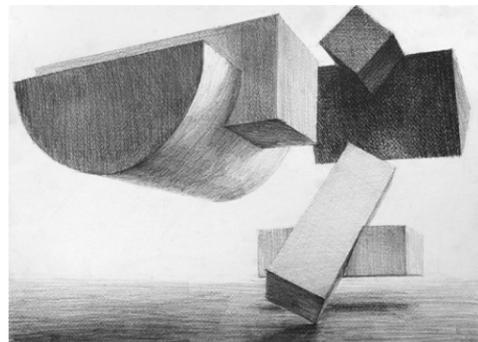
2024年度東京藝術大学合格再現作品/総合表現(B2)



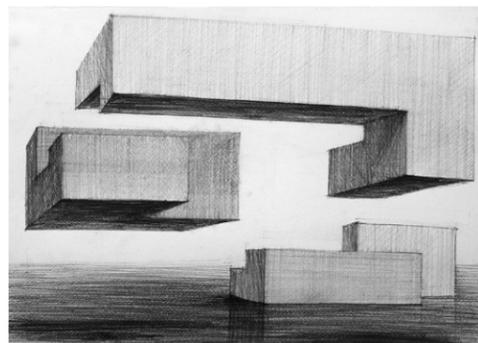
2025年度東京藝術大学合格再現作品/総合表現(B2)/空間構成(B3)/文章



空間構成/B3サイズ



空間構成/B3サイズ



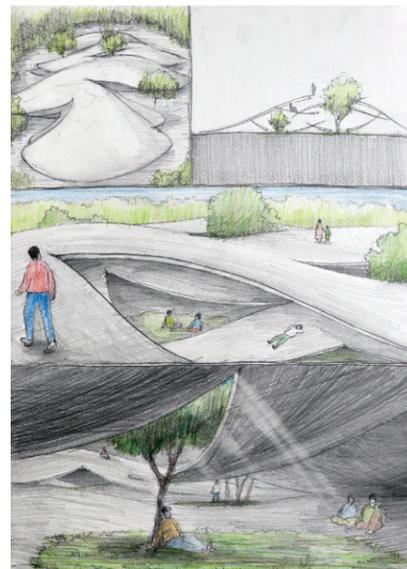
空間構成/B3サイズ



2023年度東京藝術大学合格再現作品/総合表現(B2)



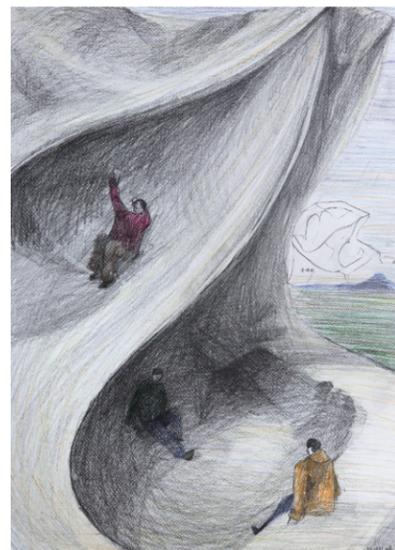
空間構成/B2サイズ



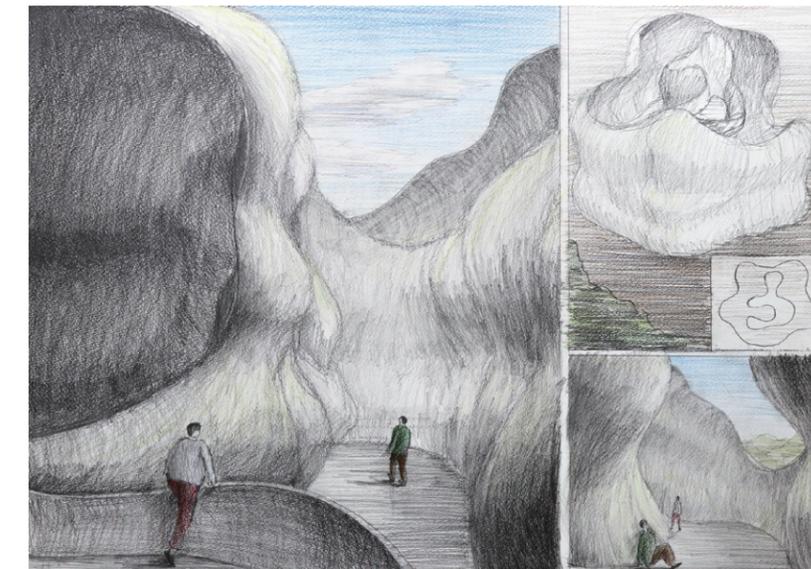
総合表現/B2サイズ



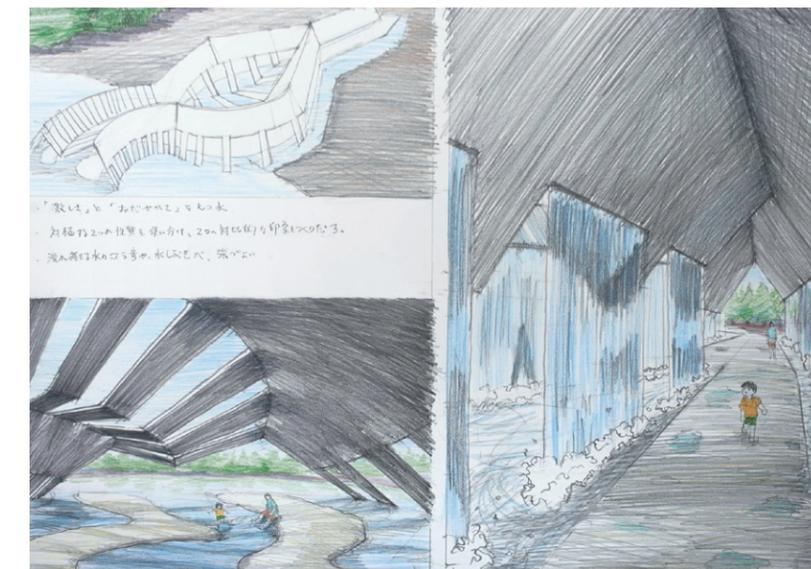
総合表現/B2サイズ



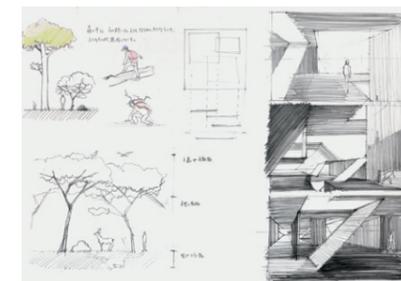
総合表現/B2サイズ



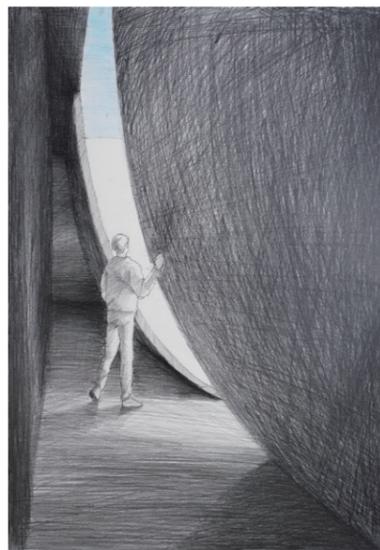
総合表現/B2サイズ



総合表現/B2サイズ



総合表現/B3サイズ



総合表現/B2サイズ



総合表現/B2サイズ

芸術学科 美術史学・美学

東京芸大Aコース

高卒生、高3生対象

日曜/9:30~16:30

東京藝大芸術学科の2次試験で「小論文」を受験する人のためのコース。

東京芸大Bコース

高卒生、高3生対象

日曜/9:30~12:30

東京藝大芸術学科の2次試験で「素描」を受験する人のためのコース。東京芸大Aコースの「英語」「歴史」を受講。

鑑賞論文コース

高卒生、高3生対象

日曜/13:30~16:30

筑波大学芸術専門学群および東京学芸大学B類美術等を「小論文」で受験する人のためのコース。Aコースの「小論文」のみを受講。

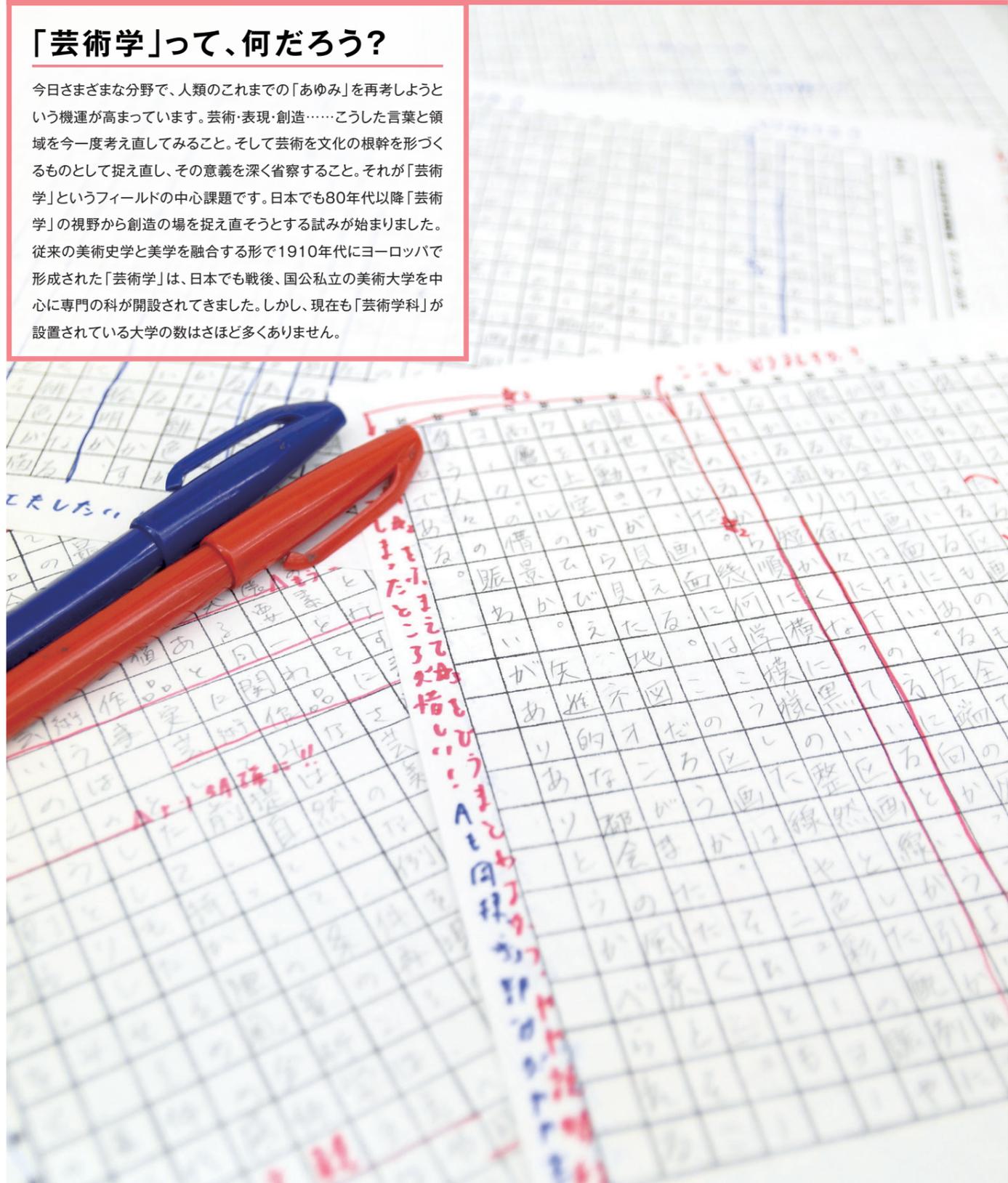
芸大基礎コース

高2生以上対象

土曜/14:00~17:00

「芸術学」って、何だろう？

今日さまざまな分野で、人類のこれまでの「あゆみ」を再考しようという機運が高まっています。芸術・表現・創造……こうした言葉と領域を今一度考え直してみること。そして芸術を文化の根幹を形づくるものとして捉え直し、その意義を深く省察すること。それが「芸術学」というフィールドの中心課題です。日本でも80年代以降「芸術学」の視野から創造の場を捉え直そうとする試みが始まりました。従来の美術史学と美学を融合する形で1910年代にヨーロッパで形成された「芸術学」は、日本でも戦後、国公立の美術大学を中心に専門の科が開設されてきました。しかし、現在も「芸術学科」が設置されている大学の数はさほど多くありません。



● 東京芸大コース

日本における芸術学の先駆的存在である東京藝大芸術学科を第1志望とする高3・高卒生のために、英文和訳・歴史論述・小論文の3科目を中心に美術史・美学の入門講座を交えて、独自のカリキュラムによる授業を行います。出題する演習問題はいずれも藝大入試の傾向をふまえて吟味したオリジナル問題。解説授業は答案添削を反映させ無理なく無駄なく行います。また「教養主義」に基づく藝大入試に備えるため、偏りのない知識と理解力の養成を目指します。

※素描入試の対策については、まず芸術学科担当講師にご相談ください。

● 芸大基礎コース

国公立大学「人文学系」の最難関校の1つとして知られる、東京藝術大学芸術学科を目指す高2生以上を対象に、土曜午後3時間を使って、藝大入試に必要な「英文和訳」「歴史論述」「作品鑑賞論文」の基本的論述・記述力を養う講座です。藝大2次レベルの論述・記述力こそ、「付け焼き刃」の効かない、根底的な思考力・分析力が必要とされる本格派レベル。受験学年になる前に、少しずつ着実に実力を養成しておくのが、藝大現役合格のための最良の対策法です。

藝大芸術学科の合格に向けて

東京藝大の入試は、大学入学共通テストと2次試験が課されます。芸術学科の定員20名という狭き門を突破するためには、共通テストだけでなく2次試験も高得点が要求されています。2次試験での論述力を重視されているため、日頃から問題に解答できるような力を養う必要があります。

「英語4技能」より大切なこと

藝大芸術学科は70年の歴史において、美術史・美学の研究者、ならびに研究能力の高い学芸員を育ててきた大学です。英語学習1つとっても、文化学の研究者としてまず必要とされるのは、英語で書かれた研究論文の「読解力」であり、また、その理解を日本語にする「翻訳力」です。ビジネスに必要なオーラルコミュニケーションの前に、まず英語と日本語の読解力と記述力の根底を、どれだけ着実に養成するか。藝大2次試験の論述は、旧帝大系の人文系学部の入試と肩を並べる本格的な論述試験。それは将来、有望な研究者・学芸員になるための資質を問う試験なのです。目先の大学入試の変更ばかりに気を取られては、藝大合格はおぼつきません。

2次対策こそ、ゆっくり着実に

日本語も含めて、言葉に関しては「話す」「聴く」よりも、「読む」「書く」能力の方が優れている場合が少なくありませんし、研究者としては後者の方がむしろ有望なのです。国公立大学の中でも最も本格的な論述を課す藝大芸術学科に合格するために、ここ30年にわたって優に200名を超える藝大生を育てた造形学校芸術学科の伝統あるプログラムを、今こそ活用していただきたいと思います。

208人目の藝大生のために！

報道等で話題になっているように、大学入試を取り巻く環境は刻々と変わりつつあります。特に大学入学共通テストにおいては、その変化が顕著と言えるでしょう。しかし、そうした表面的な変動に一喜一憂する必要はありません。もとより藝大芸術学科は美術史・美学の研究者ならびに学芸員の養成コース。したがって、これからますます「2次」の論述力が重視されます。私が造形学校の専任講師になって30年間で207名の藝大生が誕生しましたが、いずれの方も、言語（英語・日本語）の「話す・聴く」よりも「読む・書く」能力に秀でた人のように思います。どうしても「口述」が中心となる昨今の学校教育に、どことなく違和感を覚える人の方が「芸術学」に向いているのではないのでしょうか。ましてや、われわれが憧れ愛する美術・芸術という領域は、決してビジネスに還元される領域ではありませんし、表面的な情報伝達で事足りる世界でもありません。

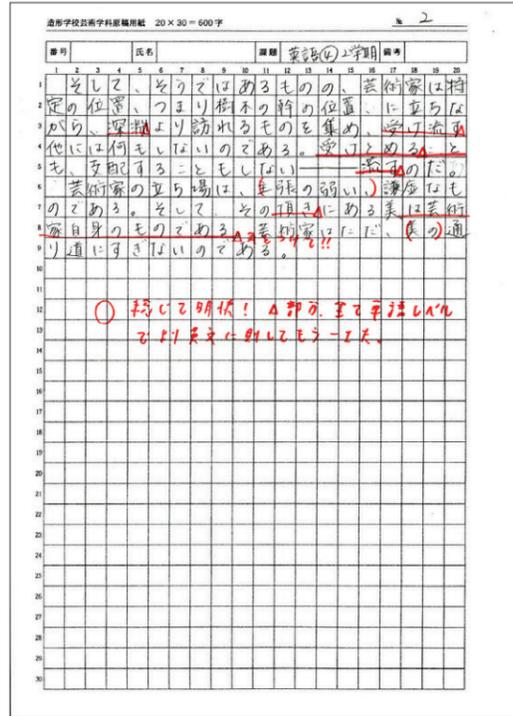
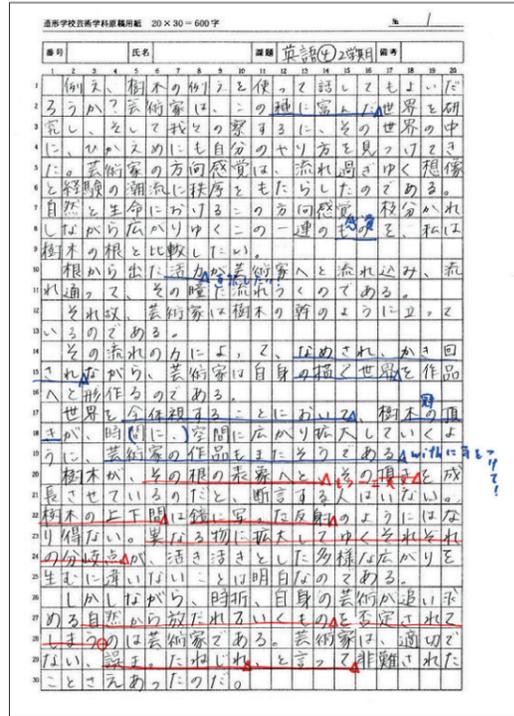
高3生・高卒生・大学生そして社会人。何らかの形で美術の世界で生きたい!と願う人にとって、藝大芸術学科は「最初の関門」なのではなく、「唯一の入口」だと思っています。文字通り「狭き門より入れ」。皆さんの思いをかなえるべく、新年度も、思いを込めた授業をお届けします。「芸術学」という、これからの長い道のりの始まりのためにも。

芸術学科講師・佐々木泰樹



英語

美術史・美学の根幹を形づくる原書の講読。それは決してペダンティックな色合いのものではなく、芸術・美術に関する思考の幅を広げる有用な方法です。欧米人の手になる美術関連の著作は、現代の日本に生きるわれわれにとっても大いに刺激となります。そうした英文の内容を汲み、どこまでの確かな日本語に翻訳できるか。芸術学で求められる「英文和訳」は単なる英文解釈にとどまらない感性的表現なのです。

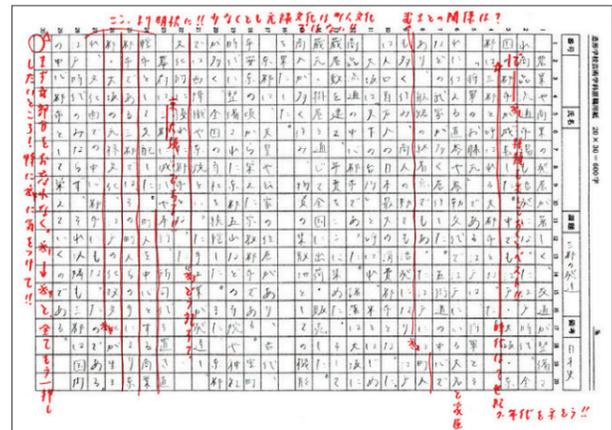


歴史

個々の天才たちによって創り出される芸術作品。しかし優れた作品というのは決して一個人の力量にとどまるものではありません。その背景には人類の歩みの滔々たる流れがあります。文化史を基軸に、作品・作者・社会の関係をダイナミックに捉え直すためにも、歴史的思考と論述は芸術学にとって不可避の課題。教科書ベースの必要不可欠な知識を基に「考え、かつ記す」という地道な作業から、芸術・美術に関する深い思索が生まれるのです。

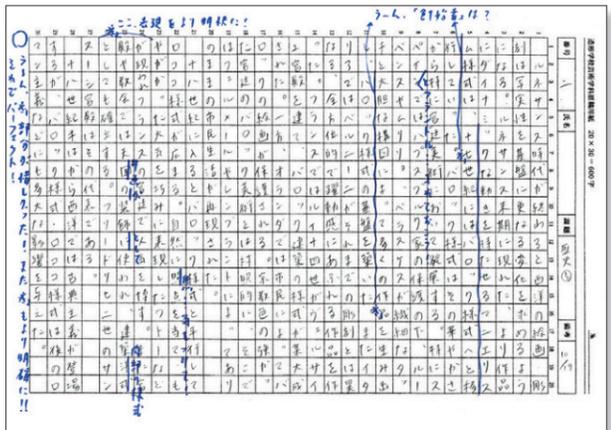
日本史

「三都の発達」について600字以内で論じなさい。



世界史

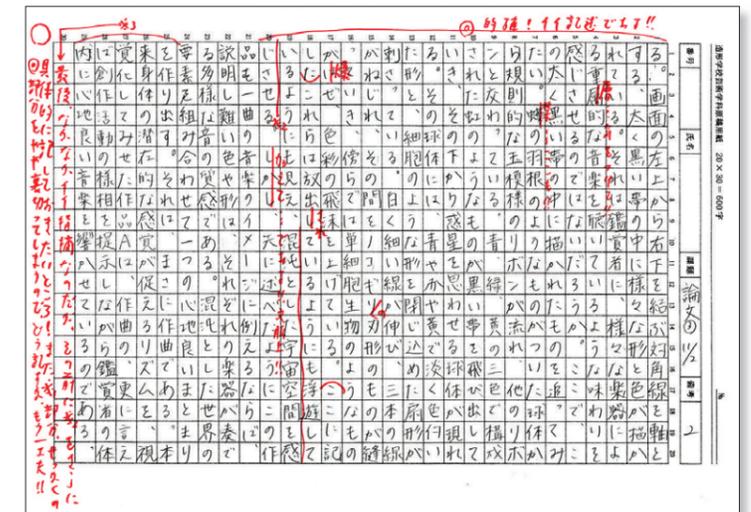
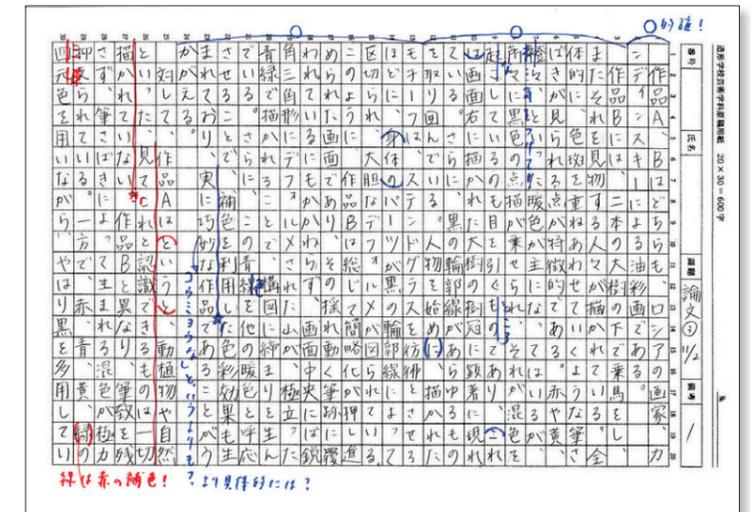
「17・18世紀の西欧美術」について600字以内で論じなさい。



論文

言葉の届かぬ先に絵画が、音楽がある。よく言われることながら本当でしょうか。絵画を、音楽を、理解し記述し得る言葉を、多くの人はまだ見つけていないとは言えないでしょうか。芸術学の論文の中心は造形作品の特質を記述することにあります。「造形的特質」の記述。そのための言葉と感性を育むこと。作品に対する深い理解は必ず言葉を伴うものです。そうした言葉の積み重ねによって、自らの感性も思いがけない広がりを持つのです。

問題 指定した作品の「造形上の特質」について論じなさい。



素描

藝大・美大の芸術学科を志す人にとって、デッサンは必ずしも入試において必要な科目ではありません。しかしデッサンとは何でしょうか、しかも良いデッサンとは? 自分なりにその感覚を養ってゆくことなしには、造形芸術に対する深い理解は成り立ちません。デッサン受講を検討される場合、芸術学担当講師にご相談ください。



東京藝術大学芸術学科合格者の在籍時の作品

先端芸術表現科 映像・アニメーション

あたらしい領域の表現をめくって

先端芸術表現科では、扱う素材や技法に捉われることなく、様々なメディアを横断しながら、創作の基礎となる実践的な学習を進めていきます。

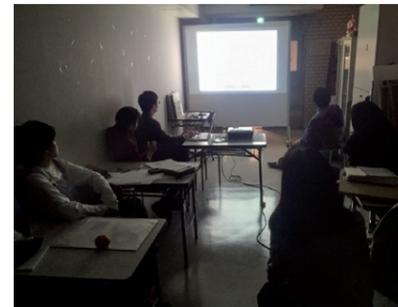
インターネットやモバイル端末の普及により場所や日時を問わず誰かが何かを発信している今日、実写やアニメーションを用いた映像はもちろん、写真、音楽、マンガ、ゲーム、演劇など様々な媒体を用いた、より独自性のある表現を生み出す人材が求められています。本科は、そういった様々な表現の世界に出て仕事をしたい、幅広い表現活動をしたいという人のために開けられている入口です。芸術のもつ意味そのものを考え、より深い表現を目指していきましょう。



受験対象となる学校

- 東京藝術大学 先端芸術表現科
 - 武蔵野美術大学 映像学科/芸術文化学科
 - 東京造形大学 映画・映像専攻/アニメーション専攻/写真専攻
 - 多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科 劇場美術デザインコース など
 - 日本大学芸術学部 映画学科/写真学科
 - 東京工芸大学 映像学科/アニメーション学科/写真学科/インタラクティブメディア学科/マンガ学科/ゲーム学科
 - 女子美術大学 アートデザイン表現学科 メディア表現領域 など
 - 京都精華大学 マンガ学部/デザイン学部イラストコース
 - 大阪芸術大学 映像学科/キャラクター造形学科/写真学科/芸術計画学科/アートサイエンス学科
 - 京都芸術大学 キャラクターデザイン学科/映画学科/こども芸術学科
- 他、映像/アニメーション/メディア系学科・専攻等

受講を希望する方は申し込みを行う前に、必ずコースを担当する講師に問い合わせおよび面談を行ってください。



先端芸術表現科 映像・アニメーション

高卒生、高2・高3生対象
土曜/14:00~20:00
日曜/9:30~16:30

高校生日曜コース

高1・高2生、初心者対象
日曜/9:30~16:30

●考えることから始めます

先端芸術表現科 | 映像・アニメーションコースが対象とする学校の多くは映画やアニメ、マンガ、舞台、現代美術など様々です。これらの多くは共同作業で作られています。自分の中に生まれた漠然としたインスピレーションを、より具体的な構想へと発展させ、自分がなぜそれを作りたいのかを頭の中で明確にすることが必要になります。

●言葉を使った表現

言葉を単なる説明の道具としてではなく、ひとつの表現媒体として使います。物語や小論文、詩やプレゼンテーションなど言葉を使う機会はたくさんありますが、より相手に自分の考えを理解してもらうために言葉の違いはもちろんのこと、印象やニュアンスまでを調節して、自己表現としての言葉を確立し使いこなせるような訓練をしていきます。

●いろいろなメディアに触れる

先端芸術表現科の授業で使用される道具は、鉛筆や筆だけではありません。写真、映像、文章、アニメーションなど、多岐にわたるメディアを用いて作品をつくる授業を行います。一つひとつの道具の基礎的な使い方から、より専門的な使い方までを、一人ひとりの興味関心、進学したい大学、将来やっていきたい仕事に合わせて丁寧に指導していきます。



高校生日曜コース

身近に相談できる人がいる

何かを始めたいと思っている人、何となく将来のビジョンがある人、自分の世界を広げる週に1度の刺激的な日があるといいと思いませんか。日曜コースはメディア系大学受験に必要な基礎力を身につけるための授業と、講師と相談しながらどんなことをするのか自分で自由に決められる授業の2本柱で進めていきます。

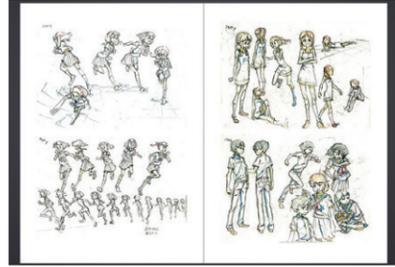


●総合型選抜・学校推薦型選抜対策もサポート 多様な試験方法への対策も行なっています

本科では、一般選抜への対策はもちろん、エントリーシートや事前提出課題の制作、ポートフォリオ制作、面接練習など、多岐にわたる試験方法に合わせた対策も行っています。志望分野が明確に決まっている人や、これまで制作してきたもの・高校生活で積極的に取り組んできたことがある人を対象に、これまでの活動や志望分野への熱意を、自分なりにまとめて伝えられるようサポートします。

ポートフォリオ制作

藝大先端芸術表現科の入試や、私立美大映像、アニメーション系学科などの総合型選抜では、これまでの個人の活動履歴を含めたポートフォリオ(作品ファイル)の提出が求められます。今自分がつくる作品はどのようなものか、その作品のコンセプトとは何か、というポートフォリオの内容の相談指導から、ファイルに収めるためのレイアウト、印刷まで個別に対応し一人ひとりの個性が生きるポートフォリオ制作を目指します。



東京工芸大学 アニメーション学科 学校推薦型選抜 合格者ポートフォリオ



東京藝術大学 先端芸術表現科 合格者ポートフォリオ

イメージ課題

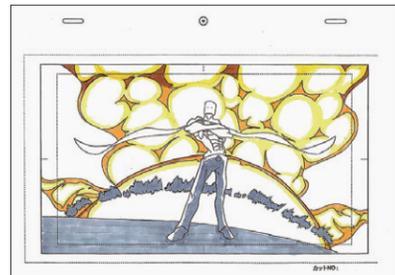
イメージ課題は物語や絵で自分の世界を表現します。その中で映像、アニメーションなどのメディア表現の教養を深め、一人ひとりが独自の世界観を構築していきます。第2学期には物語制作に集中した授業があり、物語の構成や完成度の向上を目指します。武蔵野美術大学映像学科の感覚テストや、その他美術大学の物語やイメージ課題の対策も行っていきます。



武蔵野美術大学 映像学科 感覚テスト想定課題

マンガ・キャラクターデザイン・アニメーション課題

「マンガ」「イラストレーション」は、今日の日本で最も身近である表現メディアです。近年はプロの漫画家やキャラクターデザイナーを輩出しているマンガ学科も多く、人気が高くなっています。志望校にあわせ制作を通じて受験対策に必要な想像力・構成力・画力などのバランスを養う勉強をしていきます。一人ひとりの実力に合わせて課題を見つけていき、作品の完成度を高めていくことを大切にしています。



アニメーション制作実習



イラスト制作実習



マンガ制作実習

デッサン

静物や人体など豊富なモチーフを観察し、描写を通して基礎力をつけます。それと同時に入試で重視される構成による時間性や物語性など、各志望校の特色にあわせ様々な表現方法を学んでいきます。特に将来アニメーション制作に関わっていきたく考えている生徒にとってデッサンは欠かせません。それぞれの力量に合わせて指導していきますので、初心者でも安心して始められます。



クロッキー課題



武蔵野美術大学 映像学科 デッサン対策課題

小論文

藝大・美大の小論文入試で求められているのは知識や文章力だけではありません。芸術や社会に対する新しい視点、独自の観点を持つことが必要です。どうして人は作品を作るのか、なぜ人は作品に感動するのか。まずは考えることから始まります。その思考の軌跡を言葉というメディアを用いて表現することで、自分でも気付かなかった自分に気付くことができます。模範解答はありません。自分なりの問題設定をし自分の言葉で伝える力を伸ばします。



総合実技実習・メディア実習

実際に作品をつくることは大切な受験対策の一つです。総合実技・メディア実習では、段ボールや木といった身近な素材を用いた工作的な表現をはじめ、ビデオカメラ、パソコン、プロジェクターなどの基礎的な使い方を指導しショートムービーやアニメーションなども制作していきます。机に向かうだけの受験勉強ではなく、手を動かし作品を制作することによって、コミュニケーション能力やものを見る力、集中力を向上させます。自分で作品を制作したという経験は受験に向けて大きな自信になるでしょう。



東京藝術大学 先端芸術表現科 総合実技 想定課題



ストップモーションアニメ制作実習



ボードゲーム制作実習



総合実技制作実習



アニメーション制作実習

基礎科 高校生

高校生月火コース

高1・高2生、初心者対象
月曜・火曜 / 17:10~20:10

高校生水木コース

高1・高2生、初心者対象
水曜・木曜 / 17:10~20:10

高校生金土コース

高1・高2生、初心者対象
金曜 / 17:10~20:10
土曜 / 17:00~20:00

高校生土曜コース

高1・高2生、初心者対象
土曜 / 14:00~20:00

初めての人は基礎科からはじめよう!

なぜデッサンを学ぶのか?

自分の思いを作品にするには、観察する眼と表現する技術力を養わなければなりません。そのために、どの科で受験するにもデッサン力をつけることは大切なことです。基礎科では受験の準備として、デッサンを中心に指導していきます。



芸大美大は基礎科が入口。

デッサンに必要な7項目についてわかりやすく学んでいきます。

- 形態
- 構図・構成
- 立体感
- 固有色
- 材質感
- 空間感
- 発想

デッサンを学ぶには漠然と描いてはなかなか上達しません。造形学校ではデッサンを学ぶための大切な7つの項目を掲げています。デッサン初心者は、この7つの項目の無理のないところから段階的に始め、デッサン経験者は7つの項目を合わせた課題を描き重ね、実力をつけていきます。

●初心者 Aさんの成長の歩み

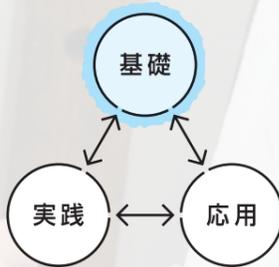
基本①「立体感を学ぶ課題:立方体」
形態、構図・構成、立体感

基本②「立体感を学ぶ課題:円柱」
形態、構図・構成、立体感

基本③「材質感を学ぶ課題:ガラス、金属」
形態、構図・構成、立体感、固有色、材質感

基本④「基本の復習課題『基本的な要素を組み合わせた静物』」
形態、構図・構成、立体感、固有色、材質感、空間感、発想

基礎科はデッサンのこの部分を重点的に指導します



代ゼミ造形学校の指導方針
「自分を磨くトライアングル法」



●美術の基本はデッサンです。

美術の世界に進もうと思ったら、まず(デッサン)から始めましょう。技術力も大切ですが、何よりもまず興味を持ってモチーフを観察することがデッサンの根本です。観ること、描くことの基本から学び、自分が表現したいこと、ものを作品にできるように指導していきます。

●個人のレベルに応じた授業。

初心者の方は道具の使い方から始め、基本的なモチーフを描きます。学期途中の参加も可能なので安心してスタートできます。教育系大学入試などにデッサンが必要な生徒へは、受験に合わせたカリキュラムを作り臨機応変に対応します。

●専攻がはっきり決まっていなくても安心。

油画科、日本画科、彫刻科、デザイン・工芸科、建築科、芸術学科や先端芸術表現科など、どの分野が自分に適しているのか?自分には何が出来るのか?第2学期中心に行われる各科講師による「専門分野の実習」によって、納得のいく進路の選択ができるように指導していきます。各科がどんな雰囲気なのかを知ることも含め進路を決定するのに最適なチャンスです。

●一人ひとり、適切な進路相談。

定期的に生徒と面談を行います。進路や制作上の悩みなどの相談ができます。受験のことばかりでなく、将来、美術の世界に進む心構えなどもお話します。

●基礎科の授業は振替ができます。

中間テストや期末テスト、部活や学校行事などで通えない日がある場合は振替ができます。学力と実技、高校と予備校の両立を考えて指導しています。(授業の振替は回数制限があり、学期期間中のみ可能です。事前に事務局、または基礎科講師へお申し出ください。振替可能回数は入学・入会規定をご確認ください。)



基礎科を見る。
知る。
体験する。

授業見学

美大受験を考えている方を対象に、実技についてのご相談や、授業内容などの見学を、年間を通して随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

初心者のための体験デッサン

美術・デザイン・建築・映像などに興味のある方を対象に、デッサンの体験実習を行っています。



体験デッサンの様子

2026年度 初心者のための体験デッサン 実施予定日

春期 3月15日(日) / 3月20日(祝・金)
4月 5日(日)

夏期 7月 5日(日) / 7月19日(日)

冬期 12月6日(日)

上記実施日の時間はいずれも12:30~16:30です。

参加無料
画材貸与

お申し込みはホームページをご覧ください。



基礎科の学期授業

デッサンの基本を通じて、さまざまな美術の世界を学んでいます。初心者には道具の使い方から始まり、順序立てたカリキュラムで今後の基礎となるデッサン力、観察力を身につけていきます。様々なモチーフを描きながら、デッサンに対しての考え方や技術力を育てていきます。

1日の授業の流れ (土曜コースの例)



静物デッサン

静物デッサンでは、身の回りにある様々な器物や野菜、果物、植物などを題材にします。石膏デッサンと同じことを主に学びますが、モチーフの材質感や固有色を感じさせ、パースと言われる透視図法を正しく使い、自然に見せる観察力と技術力を養います。

石膏デッサン

石膏デッサンでは、明暗や陰影を利用しながら、立体感や空間、像の動きや量感を表現していきます。形の違いを直したり、バランスの良い進め方や計画性を学び、制作に対する基本的な集中力を養います。



鉛筆で描いた静物デッサン



木炭で描いた石膏デッサン

基礎科通常授業作品



静物デッサン/鉛筆



石膏デッサン/鉛筆



石膏デッサン/鉛筆



手のデッサン/鉛筆



静物デッサン/鉛筆

基礎科の授業では、『木炭デッサン』と『鉛筆デッサン』のどちらでも選択して制作ができます。

木炭デッサンとは？

木炭デッサンは単に木炭の粒子を描き重ねるだけでなく、ガーゼや指ではたき落としたり、擦り込んだりして、さまざまな調子や色味を出し、古くから絵画の基礎力をつけるために行われているデッサンの方法です。細かく描きにくい画材なのですが、大きく観察したり、大胆に手を動かしたり、また修正しやすいので、デッサン初心者には最適な画材です。

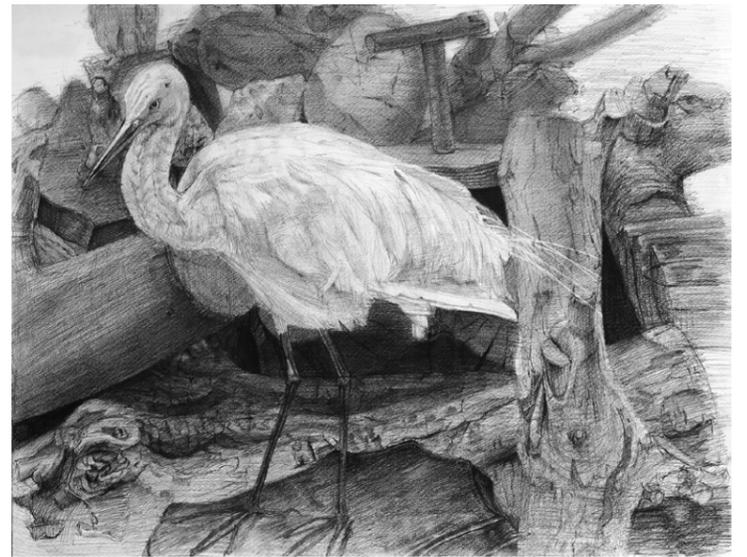


鉛筆デッサンとは？

6B~6Hなど、違う硬さを重ねて描き進めていく、日常では馴染み深い鉛筆を使用するデッサンです。木炭デッサン同様、鉛筆の粒子を重ねたり擦り込んだりして描き進めますが、先端が細い画材なので描き込みやすい分、部分的に観察しがちで全体感が損なわれることがあります。比較的どの科の受験でも鉛筆デッサンが出題されますが、受験まで余裕のある高1・高2生やデッサンが初めての人は、木炭デッサンから始めて鉛筆デッサンに変えていくことをおすすめします。



手のデッサン/鉛筆



静物デッサン/鉛筆

基礎科 専門分野の実習作品

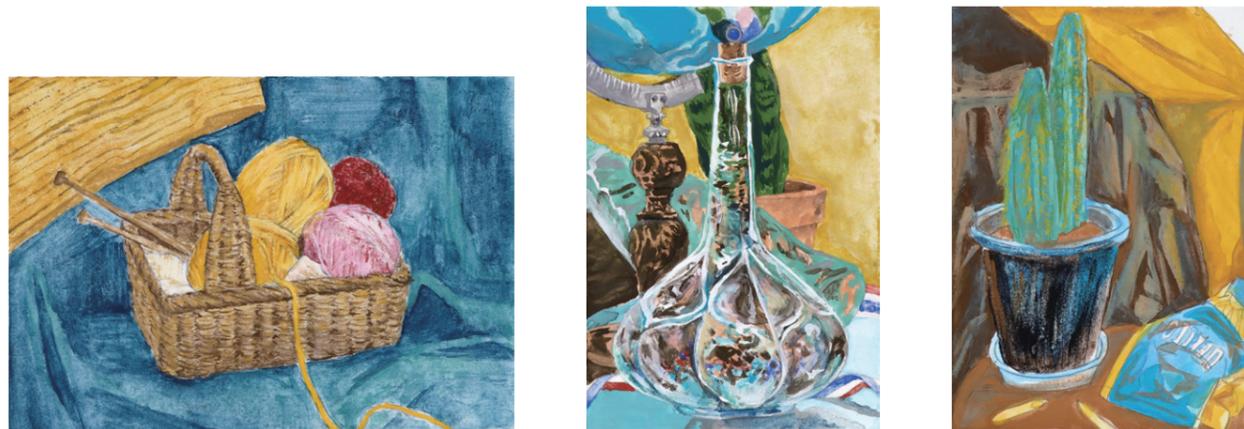
第2学期を中心に行われる専門分野の実習では、各受験科の講師に指導してもらいながら作品を作ります。油画科、日本画科、彫刻科、デザイン・工芸科、建築科、芸術学科や先端芸術表現科など、どの分野が自分に適しているのか？自分には何が出来るのか？実際に体験しながら考えていきましょう。各科がどんな雰囲気なのかを知ることも含め、進路を決定するのに最適なチャンスです。



●油画科実習 課題／「モチーフのバックグラウンドを考えて描こう」



●日本画科実習 課題／「日本画」を描いてみよう」



●彫刻科実習 課題／「塑像・構成『手とスポンジ』(左作品)／石膏像模刻『頭蓋骨』」



●デザイン・工芸科実習 課題／「平面構成:『だるま』をデザインする」



●先端芸術表現科実習 課題／「感覚テスト:『こんな夢を見た』という描き出して物語をつくる」



基礎科 中学生高校受験コース

自由に選べる3時間授業 中学生高校受験コース

中学3生対象

下記の日程から3時間を選択(学期内振替可)

月・火・木・金曜 / 17:10~20:10

土曜 / 14:00~17:00 / 17:00~20:00

中学生のための 美術系高等学校専門の 受験コースです。

東京都立総合芸術高等学校、女子美術大学付属高等学校、トキワ松学園高等学校(美術デザインコース)などの都内または近郊の実技試験、もしくは提出作品のある高校受験を対象にしていますが、その他の美術系高校受験にも対応します。



● 授業について

鉛筆の削り方や、デッサンの基礎的な描き方から始まり、わかりやすく指導します。初日は保護者の方も付き添い、一緒に描き方を聞いていただくと、どのように学習するのかを理解していただきたいと思います。第1・第2学期はデッサンを中心に、楽しく色々な物を描いたり作ったりして基礎力から応用力をつけていきます。学期途中の入会の方にも対応し、基本的なモチーフの課題から指導いたします。入試直前の第3学期には、志望校の出題傾向に合わせ、実践的な課題を繰り返し描いて実力をつけていきます。受験対策だけでなく、その先の活動の基盤となる力をつけられるようサポートしていきます。学力との両立も大切な要素ですので、学校のテストや行事にあわせて曜日を自由に選択でき、他の週に振替もできます。(授業の振替は回数制限があり、学期期間中のみ可能です。振替可能回数は入学・入会規定をご確認ください。)

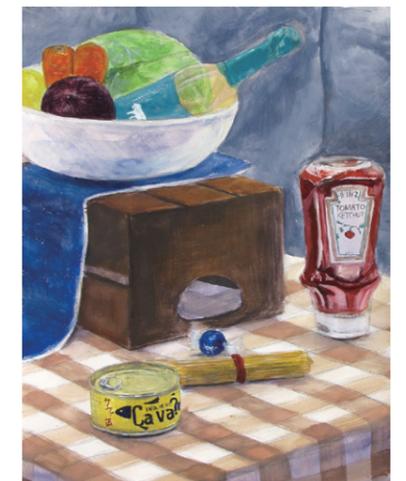


● 美術系高校受験作品

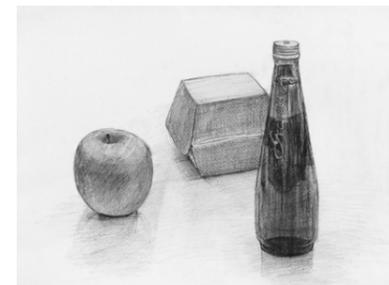
最初は誰でも初めてです。デッサンの基礎を丁寧にくり返し生徒に合わせて指導していくので安心して始めることができます。経験に応じ、少しずつ志望校に合わせた授業内容を学びます。



都立晴海総合高校対策授業作品 / デッサン



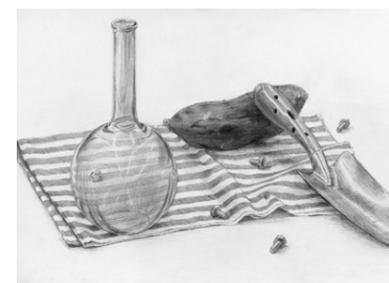
都立総合芸術高校合格再現作品 / 水彩



女子美術大学付属高校対策授業作品 / デッサン



都立総合芸術高校対策授業作品 / デッサン



都立総合芸術高校対策授業作品 / デッサン



デッサンの基本の復習課題



都立総合芸術高校対策授業作品 / 水彩

中学生高校受験コースの授業の流れ

授業の始まり

どの場所がよいかかわからない時は講師へ相談しよう。登校したら、描くモチーフを選び制作場所を決めます。

第1学期 基本的なモチーフの課題からスタート!

課題説明

道具の使い方や制作の基本的な説明をします。

基本的なやさしいモチーフを描きます。

制作

制作した作品を並べ良い点や今後の注意点などを一点一点解説します。

講評

第2学期 時間をかけて制作し作品を充実させることを目指します。後半は試験時間も意識していこう!

課題説明

モチーフの特徴や制作する上でのポイント、注意点を説明します。

制作

描き込むポイントや仕上げに向けての注意点などを個人指導します。

講評

第3学期 それぞれの志望校の出題に合わせた課題に取り組みます。合格に向かってラストスパート!

課題説明

くり返し、入試での大切なポイントを説明します。

制作

制作する上での基礎的な所を個別にチェックして指導します。

受験校に合わせた実践的な解説で受験に備えます。

講評

受験校に合わせた個人指導をします。

(途中からの入学でも基本から学ぶことができます。)

授業の終わり

後片付けをして帰宅します。授業終了後は講師への質問が自由に行えます。わからない所はどんどん聞こう。

基礎科 中学生ステップアップコース

自由に選べる3時間授業 中学生ステップアップコース

中学生対象

下記の日程から3時間を選択(学期内振替可)

月・火・木・金曜 / 17:10~20:10

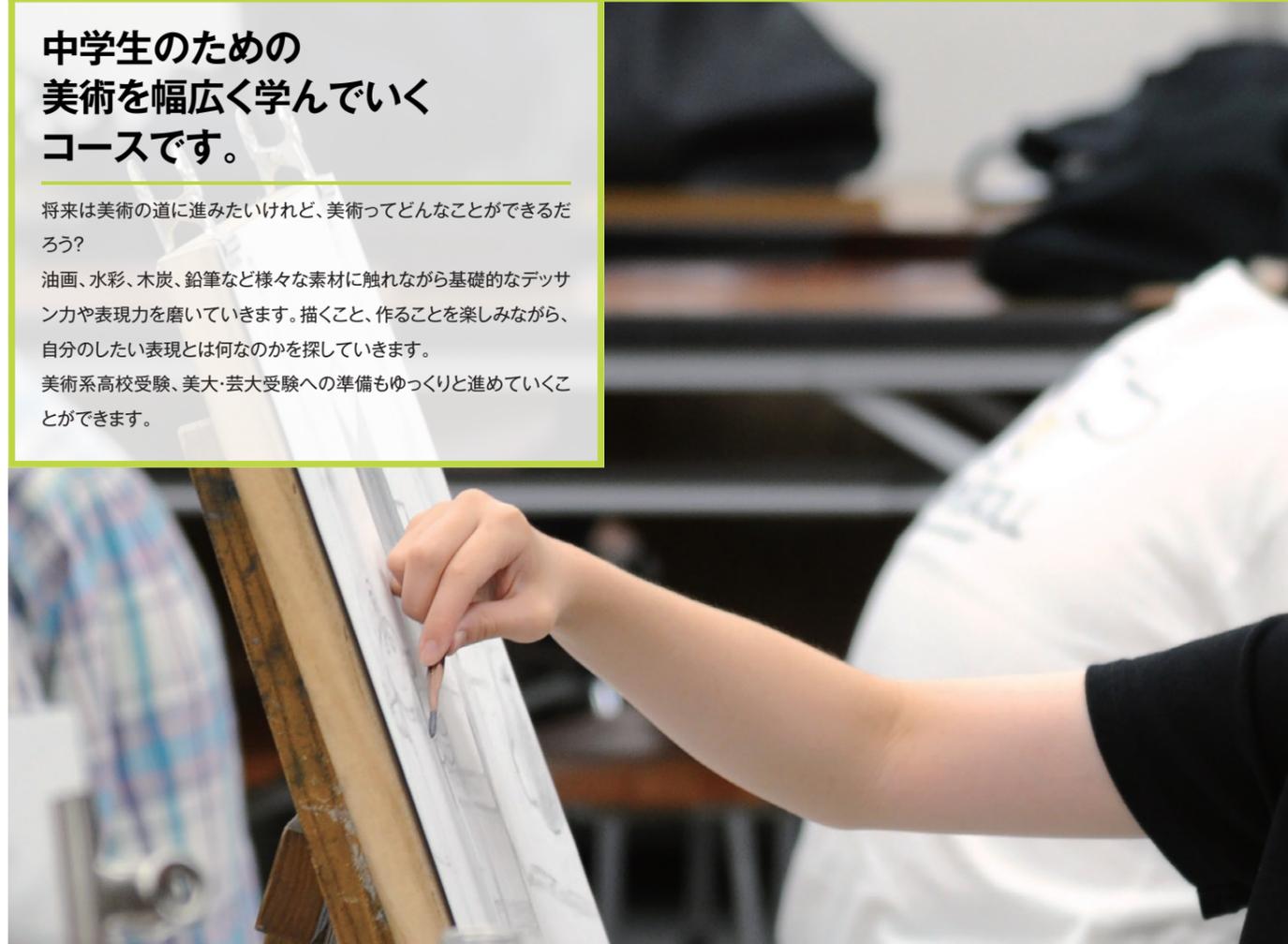
土曜 / 17:00~20:00

中学生のための 美術を幅広く学んでいく コースです。

将来は美術の道に進みたいけれど、美術ってどんなことができるだろう？

油画、水彩、木炭、鉛筆など様々な素材に触れながら基礎的なデッサン力や表現力を磨いていきます。描くこと、作ることを楽しみながら、自分のしたい表現とは何なのかを探していきます。

美術系高校受験、美大・芸大受験への準備もゆっくりと進めていくことができます。



● 中学生作品

様々な素材に触れることで美術への理解がより深まります。
将来の進路を見極める足がかりにもなるので、色々な表現に挑戦してみましょう。



木炭デッサン



木炭デッサン



木炭デッサン



木炭デッサン



鉛筆デッサン



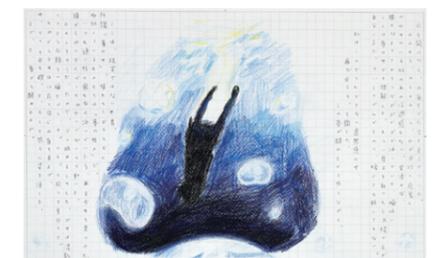
鉛筆デッサン



デザイン



水彩



感覚テスト

● 美術の基本はデッサンです。

鉛筆の削り方や、デッサンの基礎的な描き方から始めます。

木炭、鉛筆、油画や水彩など様々な素材を使い、色々な物を描いたり作ったりしながら今後の制作の基礎になる自身の表現を探していきます。

学期途中の入会の方にも対応し、基本的なモチーフの課題からスタートできます。学力との両立も高校や大学合格への近道と考えていますので、学校のテストや行事にあわせて曜日を自由に選択でき、他の週に振替もできます。(授業の振替は回数制限があり、学期期間中のみ可能です。振替可能回数は入学・入会規定をご確認ください。)



油彩



油彩



油彩

推薦対策 総合型選抜・学校推薦型選抜対策

「総合型選抜・学校推薦型選抜」対策で
造形学校の実力派講師陣が強力にサポート!!

「総合型選抜・学校推薦型選抜」
合格のキは造形学校にあり!
実力派講師の指導のもとで、
合格を勝ち取ろう!!

合格するためには、何よりも大学側がこの入試制度を通じて、受験生に何を求めているのかを知ることが一番です。この講座では、大学側に高く評価されるよう実技の基本から始め、取り組む姿勢や熱意の伝え方などを指導します。受講前に必ず行う面談を経て、「学期授業に参加する」か「個別指導アトリエで1対1の指導を行う」かを決定します。



2017年度～2026年度入試合格実績

- 武蔵野美術大学 / 工芸工業デザイン、空間演出デザイン、デザイン情報、基礎デザイン、建築、映像
- 多摩美術大学 / 彫刻、グラフィックデザイン、生産デザイン(プロダクト、テキスタイル)、工芸、建築・環境デザイン、情報デザイン(情報、メディア芸術)、統合デザイン、演劇舞踊デザイン(劇場美術)
- 東京造形大学 / 絵画、彫刻、グラフィックデザイン、アニメーション、メディアデザイン、室内建築、インダストリアルデザイン
- 女子美術大学 / 洋画、日本画、ヴィジュアルデザイン、工芸、メディア表現、ヒーリング表現、スペース表現、ファッション表現
- 日本大学芸術学部 ● 東京工芸大学 ● 横浜美術大学
- 横浜国立大学 / 建築 ● 早稲田大学 / 創造理工-建築
- 慶應義塾大学 / 環境情報 ● 芝浦工業大学 / 建築
- 東海大学 / 建築 ● 東北芸術工科大学 / 洋画、文化財保存修復
- 日本女子大学 / 建築デザイン ● 共立女子大学 / 家政-建築-デザイン
- 長岡造形大学 / 建築-環境デザイン ● 京都精華大学
- 京都芸術大学 ● 京都工芸繊維大学 ● 九州大学 / 芸術工学部
- 桑沢デザイン研究所

学期授業を受講

授業曜日や時間については、各科ページをご参照ください。

- 油画科……………16ページ
- 日本画科……………18ページ
- 彫刻科……………20ページ
- デザイン・工芸科……………30ページ
- 建築科……………44ページ
- 芸術学科……………50ページ
- 先端芸術表現科……………54ページ

個別指導アトリエを受講

個別指導アトリエ 回数申込

指導曜日・時間

月曜～土曜	日曜および通常授業休講日
○ 9:30～12:30(180分)	○ 9:30～12:30(180分)
○ 13:30～16:30(180分)	○ 13:30～16:30(180分)
○ 17:00～20:00(180分)	

上記は学期授業期間の時間設定です。講習会期間などに指導を希望される場合は、造形学校事務局までご相談ください。



● 基礎・基本を重点に置いた実技指導

首都圏の美術大学を受験するにしても、その他の大学で実技試験が課されている場合においても、志望校合格のためには確固たる基礎力が必要です。代ゼミ造形学校ではここに重点を置いた指導を行い、合格するための力を養成します。これから対策をスタートしたい、という方も安心して取り組むことができます。

● 個別指導アトリエを使った二人三脚の指導

一人でじっくり学びたい、集団での授業が合わない、などの場合は個別指導もおすすめております。初心者へは基礎力アップのポイントを、経験者には作品制作過程でのつまづきや弱点などを的確にピックアップし、それぞれの志望校合格へ近づけていきます。

● 多岐にわたる指導内容

総合型選抜・学校推薦型選抜においては、「実技試験」「ポートフォリオ」「面接」など対策しなければならない内容が多岐にわたります。代ゼミ造形学校では、受講前の面談や授業の進捗度合いに応じて、一つひとつ丁寧に対策を行います。

受講までの流れ

① 受講相談

受講を検討されている場合、事前に担当講師との面談を実施いたします。その際に「志望校・学科(専攻)」「試験日」「これまでの実技経験」などをヒアリングします。校舎へ直接来校しての面談はもちろん、オンラインや電話でのご相談も受け付けています。まずは造形学校事務局までお問い合わせください。

② 受講するコースを決定

受講相談でヒアリングした内容を基に、「学期授業を受講する」か「個別指導アトリエを受講する」かのうちどちらが適しているかを提示します。志望校合格のための専用カリキュラムを組んで対応します。

● 学期授業を受講

各科の学期授業を受講します。初めての方も安心して参加できます。

● 個別指導アトリエを受講

造形学校講師が専属パートナーとなり、志望校合格のために指導します。

合格したみなさんの作品の一部です。



多摩美術大学 彫刻学科
総合型選抜 合格者 ポートフォリオ



多摩美術大学 統合デザイン学科
学校推薦型選抜 合格者 ポートフォリオ(PDF形式)



武蔵野美術大学 基礎デザイン学科
総合型選抜 合格者 提出作品



東京造形大学 総合型選抜
合格者 プレゼンテーション用持参作品



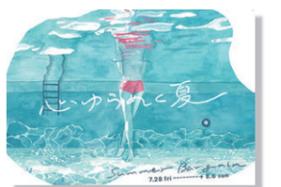
多摩美術大学 生産デザイン学科 プロダクトデザイン
学校推薦型選抜 合格者 受験対策作品



武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科
総合型選抜 合格者 ポートフォリオ



女子美術大学 ヴィジュアルデザイン専攻
総合型選抜 合格者 ポートフォリオ



日本大学芸術学部 デザイン学科
学校推薦型選抜 合格者 持参作品

造形ジュニアこども絵画教室



一緒にかたちにしていきましょう。

●「描く」ことを中心に指導していきます。

造形ジュニアこども絵画教室では芸大美大を卒業した講師たちが指導にあたり、絵画を中心に授業をしていきます。静物や生きた動物を実際に観察しながらの写生、名作の模写など、さまざまなものをモチーフに油絵、水彩、木炭、鉛筆などで制作します。

●少人数制

少人数制で、講師と生徒の会話を大切にしています。その日のモチーフや課題をどのように捉え、なにを表現したいのか、一人ひとりと話すことから始めます。それぞれが満足いく制作ができるよう、サポートをします。

●授業の最後に自分の作品を発表する時間を設けます。
「描く」、「作る」という行為を「言葉」に変換することで、
新しい作品の見方が生まれます。

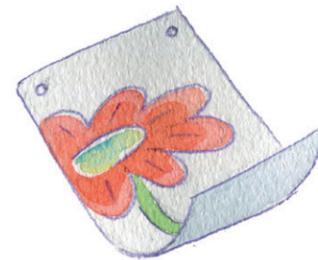
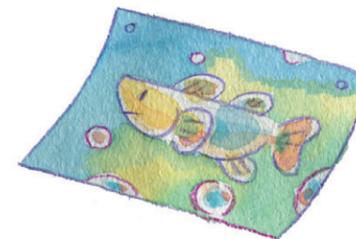
ただ描いたり、作ったりするだけではなく、毎授業の最後に「講評会」を行います。今日の作品についてどんなことを描いたのか、それを表現するためにどんな工夫をしたのかなど、もう一度自分の作品を客観的に見直して、ひとりずつみんなの前で発表をします。同じものを見ていても感じ方はさまざま。でき上がったものをみんなで見せ合ったら、今まで気づかなかったことも見えてくるはずです。

●「ミニクラス」と「ジュニアクラス」

造形ジュニアこども絵画教室は小学1年生・2年生対象の「ミニクラス」、小学3年生～中学3年生対象の「ジュニアクラス」の2つのクラスに分かれます。ミニクラスでは自由な発想を大切に。ジュニアクラスではモチーフを観察し、どう表現するか、それぞれの段階に合わせて制作していきます。

●造形ジュニア展

代々木ゼミナール造形学校は「YOYOGI ART GALLERY」を併設しており、普段から様々な作品に触れることができます。造形ジュニアでは授業の成果を発表する展覧会を、1年に3回(春・夏・冬)行います。日頃の成果を、是非ご家族で見にいらしてください。



ミニクラス 対象:小学1年生・2年生

●日曜日午前クラス	10:00～12:00(2時間)
●日曜日午後クラス	14:00～16:00(2時間)

ジュニアクラス 対象:小学3年生～中学3年生

●水曜日クラス	17:00～19:00(2時間)
●土曜日午前クラス	10:00～12:00(2時間)
●土曜日午後クラス	14:00～16:00(2時間)
●日曜日午前クラス	10:00～12:00(2時間)
●日曜日午後クラス	14:00～16:00(2時間)

※詳細はお電話にてお問い合わせください。[フリーダイヤル/0120-71-4305]



代々木ゼミナール造形学校では美術系進学のための情報提供として、大学説明会を実施しています。
2025年度は「5美大合同個別相談会」を開催しました。この大学説明会や保護者面談会を通じて受験校に関する疑問にお答えし、進学のイメージをより具体化していきます。

5美大合同個別相談会



女子美術大学



多摩美術大学



東京造形大学



日本大学芸術学部



武蔵野美術大学



2025年6月22日(日)、「5美大合同個別相談会」が開催されました。美術大学への進学を考えている中学生・高校生・高卒生とその保護者様など、多くの方が参加していただきました。各大学担当者の皆さんは当初の予定時間を超え、熱心に最後まで相談に乗っていただきました。

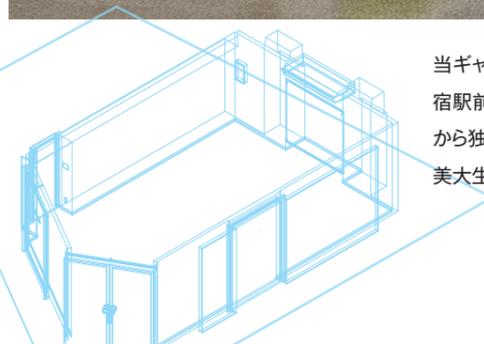
代々木アートギャラリー



造形学校、別館1階のアートスペース

YOYOGI ART GALLERY

当ギャラリーは美術作品を制作されている方々のための展示スペースです。アクセスに最適な原宿駅前に立地し、平面・立体に関わらず展示しやすい設計になっています。展示スペースは本校舎から独立した別館の公道に面した1階にあり、大きな作品の搬入にも適しています。美大生や専門学校生、若手作家などの作品発表の場として、ご利用いただけます。



YOYOGI ART GALLERY | EXHIBITION 2025



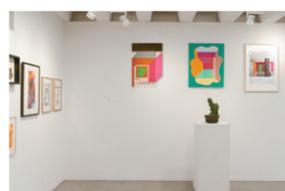
春の造形ジュニア展



佐々木家樹作品展「山水欣求」



Echoes Point



Echoes Point



夏の造形ジュニア展



マジックカーペット展



マジックカーペット展



光の粒 particles of Light



光の粒 particles of Light



冬の造形ジュニア展



詳細お申し込み方法は別冊「代々木アートギャラリーご利用規定」をご覧ください。

芸大美大合格者選抜作品展



YOYOGI ART GALLERY

芸大美大合格のノウハウと代ゼミの特徴が作品を通じてわかります。

第3学期終了から新学期開講後までの期間、YOYOGI ART GALLERYにて合格者の再現作品や優秀作品の中から選りすぐりの作品を展示します。代ゼミの授業内容や芸大美大の合格水準を知る上で大変参考になりますので、ぜひご覧ください。

芸大美大合格者選抜作品展

2026年3月9日(月)～4月12日(日)

10:00～17:00 / YOYOGI ART GALLERY



■ 初心者のための体験デッサン

「デッサン」ってなに？ 悩む前に体験してみよう。

美術やデザインなどに興味がある中学生・高校生・高卒生を対象に、デッサンの授業体験を開催します。芸術系・美術系の進路に興味のある方、今後どのような準備が必要なのかを知りたい方、代ゼミ造形学校の授業を体感したい方など、お気軽にご参加ください。保護者の方も見学可能です。

- 詳細は、別紙「2026年度初心者のための体験デッサン」をご覧ください。
- 参加無料・画材貸与
- ホームページからお申し込みください。



参加無料
画材貸与

2026年度 実施日

春期 3月15日(日) / 3月20日(祝・金)
4月 5日(日)

夏期 7月 5日(日) / 7月19日(日)

冬期 12月 6日(日)

上記実施日の時間はいずれも12:30~16:30です。

■ 美大受験生と保護者のための受験相談会

芸大・美大合格のためのプランを立てよう!

来年度または将来芸大・美大を受験するにあたり、学力と実技力アップをどう図れば良いのか悩んでいる高校生、この1年で合格を確実にしたい高卒生などを対象に、各自の志望校と学習状況にあった受験勉強の方向性を、丁寧に的確にお話しします。保護者の方もぜひお気軽にご参加ください。

- 電話にてお申し込みください。
- ご希望によりオンライン・電話での相談も可能です。お気軽にご相談ください。



参加無料

2026年度 実施日

春期 3月15日(日) / 3月20日(祝・金)
4月 5日(日)

夏期 7月 5日(日) / 7月19日(日)

冬期 12月 6日(日)

上記実施日の時間はいずれも10:00~11:30です。

■ 初心者のための体験油彩

油画の入試科目「油彩」を体験してみよう。

はじめて油彩にふれる方から、藝大美大油画科の受験を考えている方まで、どなたでも参加いただける油彩体験イベントです。観察したことや頭の中のイメージがキャンパスの上で形になっていく体験と、絵具と遊ぶ感覚をお楽しみください。入試についてや絵を描くことについての漠然とした質問にもお答えします。お気軽にご参加ください。

- 詳細は、別紙「2026年度初心者のための体験油彩」をご覧ください。
- 参加無料(別途キャンパス代を頂戴します)・画材貸与
- ホームページからお申し込みください。



参加無料
画材貸与

2026年度 実施日

夏期 7月12日(日)

冬期 12月13日(日)

上記実施日の時間はいずれも9:30~16:30です。

■ 初心者のための体験着彩

日本画の入試科目「着彩」を体験してみよう。

大学入試科目である水彩絵具での着彩を体験できるイベントです。日本画科に興味のある中学生・高校生・高卒生を対象にしています。学校の図工や美術の授業でも使っている水彩絵具の奥深さに触れてみませんか?大学に入ってから使う岩絵具や受験対策についても相談できます。お気軽にご参加ください。

- 詳細は、別紙「2026年度初心者のための体験着彩」をご覧ください。
- 参加無料・画材貸与
- ホームページからお申し込みください。



参加無料
画材貸与

2025年度 実施日

夏期 7月12日(日)

冬期 12月13日(日)

上記実施日の時間はいずれも9:30~16:30です。

■ 初心者のための体験色彩構成

デザイン科の入試科目「色彩構成」を体験してみよう。

美大デザイン科の受験を考えている高校生・高卒生の方を対象に、入試で出題される色彩構成を実際に体験できるイベントです。美大入試はもちろん、デザイン科を志望するうえで必要な学習についてもお話します。本格的な受験勉強はこれからという方、代ゼミ造形学校のデザイン科の授業を実際に体験したいという方など、お気軽にご参加ください。

- 詳細は、別紙「2026年度初心者のための体験色彩構成」をご覧ください。
- 参加無料・画材貸与
- ホームページからお申し込みください。



参加無料
画材貸与

2026年度 実施日

春期 3月20日(祝・金)
4月 5日(日)

夏期 7月13日(日)

冬期 12月13日(土)

上記実施日の時間はいずれも12:30~16:30です。

■ プレ講習

代ゼミ造形学校の授業を実際に体験してみよう。

春期講習会・第1学期開講を控え、実力アップの指針を得たい、もしくはこの1年で合格を確実にしたい高校生・高卒生を対象にプレ講習を実施します。プレ講習では油画科、日本画科、彫刻科、デザイン・工芸科、建築科、芸術学科、先端芸術表現科の授業を無料で受講できます。この講習で代ゼミ造形学校の授業を体感し、より効果的な実力アップへとつなげるために、春期講習会と併せて受講することをおすすめします。

- 参加無料
- 用具は各自準備してください。
- ホームページからお申し込みください。



参加無料

2026年度 実施日

プレ講習 3月21日(土)・22日(日)

油画科 日本画科 彫刻科
デザイン・工芸科 芸大コース 私大コース
建築科 芸術学科 先端芸術表現科

上記実施日の時間は9:30~16:30です。

■ 初心者のための体験塑造

粘土を使った立体制作「塑造」を体験してみよう。

美術、特に立体に興味がある中学生・高校生・高卒生を対象とした塑造体験イベントです。油土や紙粘土とは違う「水粘土」を練るところから、塑造のダイレクトな造形感覚と一緒に楽しんでみませんか。美大受験を考えているけど進路に迷っている方や、代ゼミ造形学校の彫刻科の授業を体験したいという方にもおすすめです。

- 詳細は、別紙「2026年度初心者のための体験塑造」をご覧ください。
- 参加無料・画材貸与
- ホームページからお申し込みください。



参加無料
画材貸与

2026年度 実施日

夏期 7月12日(日)

冬期 12月13日(日)

上記実施日の時間はいずれも9:30~16:30です。

■ 入学ガイダンス

美大のこと、専攻のこと、試験のこと、作品レベルは?

美大入試のすべての疑問にお答えします。

造形学校では、入学に関するガイダンスを学期・講習会を問わず随時行っています。芸大や美大入試に関することや代ゼミ造形の授業についてなど、様々な質問に講師が丁寧にお答えします。

- 電話にてお申し込みください。



入学ガイダンス 随時行います。

対面の他にオンラインや電話でも
面談しています。

代ゼミを、もっともっと知る。体験する。



大石膏

ラオコーン・マルス・アルルのヴィーナス・闘士などの全身像を設置。

造形学校エントランスホールには、ラオコーン・マルス・アルルのヴィーナス・闘士・奴隷・円盤投げ・ジョルジョの全身像と、ベルヴェデーレのトルソ・うずくまるヴィーナスが設置され、他に類を見ない充実した大石膏像の空間になっています。また、階段にも貴重なレリーフ像が設置されています。あの石膏胸像の元となった全身像の動きやスケール感を体感しながら、デッサンすることができます。



参考作品・図書

豊富な資料を授業の補助教材として活用。

芸大・美大へ進学した先輩たちが、在学中に制作した優秀な作品や入試課題の再現作品を各科で数多く保管しています。美術書や画集・美術雑誌などの図書も豊富に揃っていますので、授業の補助教材として活用できます。さらにデータ化された資料をプロジェクターを使って講義し、わかりやすい授業を行います。



保護者面談会

家庭と学校が一体となって合格を目指す。

保護者面談会を、第1学期と第2学期に1回ずつ実施します。保護者の皆様と担当講師によるガイダンス、面談を通じて進路上的の問題を話し合います。学校の基本方針である「親身の指導」をモットーに、入試に備えて家庭と学校が一体となることを目指しています。



学生寮

ベルヴェタワ（男子・女子）があります。この学生寮は、生徒のための理想的な宿舎を目指して建設され、全館個室・冷暖房完備の快適な設備を持っています。入寮手続は、早めに代々木ゼミナール本校 学生寮 住宅管理入室までお問い合わせください。



クリニック

健康で勉学に励むことが合格への第一歩です。代々木駅からすぐの「花クリニック」では、本校の校医として、大学受験科生全員の健康診断を実施しています。大学受験科生徒のホームドクターとして、疾病の予防・治療を行い、ベストコンディションで学べるよう、健康管理に万全を期しています。



学習支援 首都圏学校対象

造形学校専属講師が高校に出張。

造形学校では首都圏学校を対象に学習支援を行っています。基礎力の充実を目的とした授業（デッサン等）から、実践的な芸大・美大受験対策まで幅広い指導ができます。

※詳しくは、「造形学校(事務長)」までお問い合わせください。



モチーフ室

あらゆる課題に対応するために。

入試においてデッサンは不可欠です。大学や専攻によって出題は様々。造形学校ではこの様々な入試傾向の課題に対応するために、豊富な種類のモチーフを用意しています。日々のデッサン力向上や、入試対応のために活用されています。



自習コーナー

学科の自習に最適。

エントランスホールの一角には自習コーナーがあります。自習のほか美術系図書や進学資料を閲覧できます。



講習会

春・夏・冬、描写力・表現力が伸びていく。

春期・夏期・冬期・入試直前の各期間に講習会を開催しています。自身の弱点を克服したいと考えている皆さんや、地方在住の高校生など平常は実技の実習を十分にできる機会のない皆さんのために、集中的な実技指導を行います。短期間で総合的なレベルアップを図れる内容で、各自の志望校や学習段階に応じたきめ細やかなコースを設置しています。

2026年度 講習会 実施予定

春期講習会	3月25日～4月4日
夏期講習会	7月13日～8月22日
冬期講習会	12月14日～1月6日
入試直前講習会	1月7日～2月28日

●各講習の授業内容など、詳細は別冊「講習会案内」をご覧ください。



ホームページ

<https://art.yozemi.ac.jp/>

造形学校の講座や講習会案内、体験授業・特別講演イベントの最新情報をホームページや公式X、公式Instagramにてお知らせしていきます。また案内書の請求はホームページからできます。授業の様子なども紹介していますので、ぜひご覧ください。

造形学校の歩み since 1962



- 1962年(昭和37年) 「デッサン科」を設置し、夏期講習より芸大受験生などの実技指導を始める。
- 1963年(昭和38年) 本格的にデッサン科を開設し、多くの受験生を集める。
- 1965年(昭和40年) 「芸大受験科」を新設、学科と実技の総合授業により芸大合格達成への飛躍をはかる。夜間部を設置する。
- 1966年(昭和41年) 美術系大学受験生の増加にともない、代々木ゼミナール発足の地を、「美術センター」として全館を改築し、独立した校舎に移転する。
- 1968年(昭和43年) 現役高校生のために基礎力に重点をおいた土曜・日曜の基礎コースを設置する。
- 1970年(昭和45年) デッサン科で親しまれてきた名称を「美術科」と改める。
- 1972年(昭和47年) デザイン系学部への進学志望者の増加にともない、美術科分室を開設。
- 1981年(昭和56年) 専修学校の認可を受け、「代々木ゼミナール造形学校」を代々木(代ゼミタワー立地)に開校。
- 1986年(昭和61年) 東京藝術大学合格者数を56名に伸ばす。
- 1987年(昭和62年) 関西地区の芸大美大志望者の強い要望により、専修学校「大阪造形専門学校」(大阪南校芸大美大受験コース)を開校。京都市立芸術大学に高い合格実績を上げる。
- 1989年(平成1年) 横浜の中心地に、東京、大阪に次いで「横浜アトリエ」を開校。造形学校のデザイン・工芸科を、生徒のニーズに合わせて芸大と私大に分ける。
- 1991年(平成3年) 遠方の生徒のために、「通信教育」を設置。
- 2004年(平成16年) 個別指導希望の声に応じて、「個別指導アトリエ」を設置。
- 2005年(平成17年) 校舎を美術環境としては申し分のない「原宿」に移し、新たな第一歩としてスタートする。
- 2012年(平成24年) 開校50周年を迎えて、付属施設として「代々木アートギャラリー」開廊。
- 2014年(平成26年) 「造形ジュニアこども絵画教室」を開講。
- 2022年(令和4年) 開校60周年を迎える。

代々木ゼミナール造形学校監修のデッサンの新しい教科書



基礎から学ぶ鉛筆デッサン

内容 ●PART1 デッサンを描く前に
 ●PART2 立体の特徴と立体感
 ●PART3 固有色・材質感
 ●PART4 構図・光・空間
 ●PART5 自然物—野菜・花の表現
 仕様 代々木ゼミナール造形学校【監修】
 石川 聡・岡田浩志【共著】
 定価(本体1,800円+税)B5判/176ページ
 発行 株式会社エムティエヌコーポレーション



基礎から学ぶ人物デッサン

内容 ●PART1 デッサンの画材
 ●PART2 手のデッサン
 ●PART3 自画像のデッサン
 ●PART4 半身・全身のデッサン
 仕様 代々木ゼミナール造形学校【監修】
 石川 聡・岡田浩志【共著】
 定価(本体1,800円+税)B5判/160ページ
 発行 株式会社エムティエヌコーポレーション



基礎から学ぶ空間デッサン

内容 ●PART1 デッサンで使う画材
 ●PART2 空間の表現方法【透視図法】
 ●PART3 空間の表現方法【効果・演出】
 ●PART4 静物・人物の空間デッサン
 ●PART5 室内・屋外(街)の空間デッサン
 ●PART6 屋外(自然)の空間デッサン
 仕様 代々木ゼミナール造形学校【監修】
 石川 聡・岡田浩志【共著】
 定価(本体1,800円+税)B5判/176ページ
 発行 株式会社エムティエヌコーポレーション

代々木ゼミナール造形学校

設置講座一覧

昼間部 / 夜間部 / 土日部 / 夜間基礎部 / 土日基礎部 / 学科

油画科 / 日本画科 / 彫刻科 / デザイン・工芸科 / 建築科 / 芸術学科 / 先端芸術表現科 / 基礎科(高校生コース・中学生高校受験コース・中学生ステップアップコース) / 学科

個別指導アトリエ

個別指導 ※回数申込

造形ジュニア こども絵画教室

水曜クラス / 土曜クラス / 日曜クラス

講習会

春期講習会 / 夏期講習会 / 冬期講習会 / 入試直前講習会

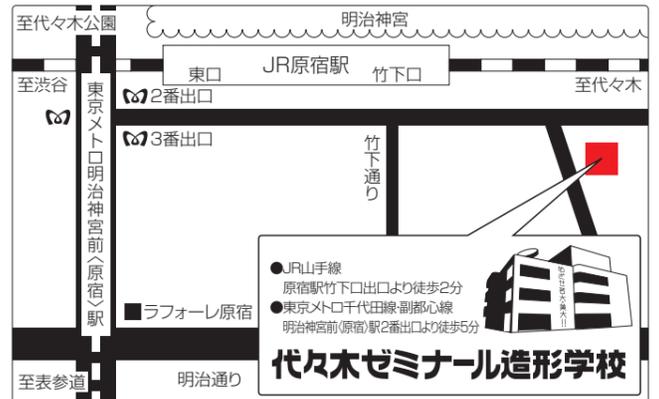
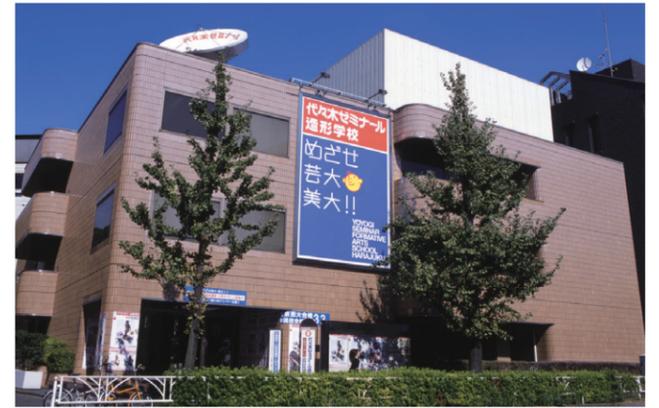
造形学校
ホームページ



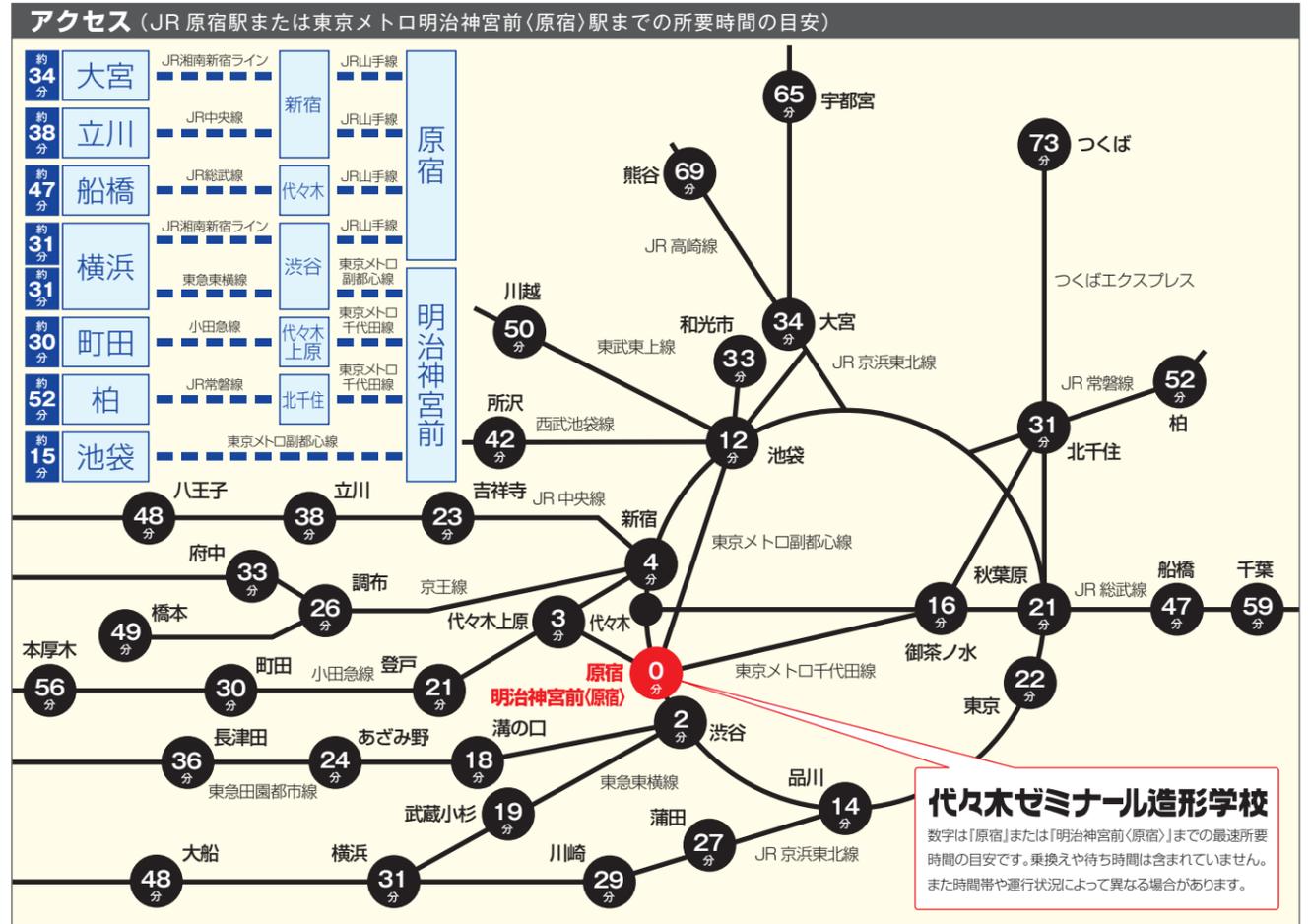
造形学校
公式X

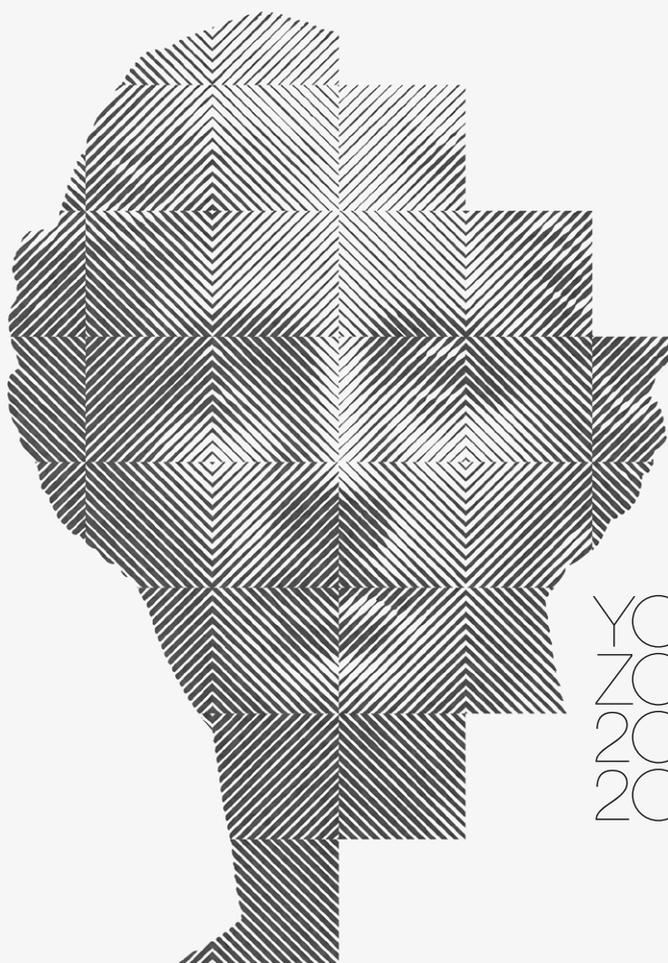


造形学校
公式Instagram



〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-62-3
 ☎0120-71-4305





YOZEMI
ZOKEI
2026-
2027



SAPIX YOZEMI GROUP

代々木ゼミナール造形学校

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-62-3

☎ 0120-71-4305

<https://art.yozemi.ac.jp/>

代ゼミ造形

検索

入会における個人情報の取り扱いについて

お申込に際してご記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、厳重に取り扱い、以下に提示する利用目的にて使用させていただきます。

利用目的

- ①当学園在籍生に対する緊急連絡等のための名簿作成、クラス編成、授業運営、進学相談、学習補助等及びその運用に必要な出席管理システム等各種システム運用のため
- ②当学園若しくは当学園が委託した第三者が企画・主催する各種行事その他のご案内、各種サービスの利用、若しくは各種調査等のご依頼のため
- ③インターネット、電話等で案内書等の請求をされた方に対して、当該案内書等の到着確認のため
- ④皆様の在籍または出身高校からの要望に基づき、当学園が作成した進学指導用資料を提供するため
- ⑤大学合格体験記の掲載または大学合格校の掲示、及び模擬試験成績優秀者として当該模試データブックの掲載または掲示のため
- ⑥個人を特定できない方法・表記を用いた進学情報資料作成のため

当学園が取り扱う皆様の個人情報に関する問い合わせ先

当学園本部長個人情報取扱管理責任者（法務部本部長）、若しくは当学園各校舎個人情報取扱責任者（各校舎事務長）

電話：当学園本部長 03-3379-5221（大代表）、若しくは在籍各校舎

JR山手線「原宿駅」竹下口出口より徒歩2分 / 東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前（原宿）駅」2番出口より徒歩5分